

第3次朝霞市子ども読書活動推進計画

資 料 編

掲載資料

1. 市内の読書活動の取組
2. 第3次朝霞市子ども読書活動推進計画策定に伴うアンケート集計結果
3. 令和3年度 第1回市政モニターアンケート結果
4. 子どもの読書活動の推進に関する法律

市内の読書活動の取組

関係課・関係機関が令和2年度に実施した読書活動を記載しています。

※関係課・関係機関の報告に基づき掲載しています。同一名称の活動でも、実施機関ごとに活動内容に相違があります。また、掲載以外にも実施されている活動があります。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動等を中止した場合は、取組状況のなかで「令和2年度はコロナ禍のため中止」と記載しています。

(1)図書館

活動名等	取組状況
ブックスタート	保健センターで実施している4か月児健診時に、赤ちゃんと保護者にメッセージを伝えながら絵本の読み聞かせを行い、ブックスタートパックを配布する。 ブックスタートは絵本を通してすべての赤ちゃんと保護者が楽しい時間を分かち合うことを応援する活動である。また、本活動は、単なる読書推進活動でなく子育て支援活動として、他の行政機関と連携して実施することが不可欠である。 開始:平成15年8月 年間24回(ごと月2回) 実施状況:令和2年度 4月～6月:コロナ禍のため中止 7月より再開 (追加実施)コロナ禍のため中止となった期間の対象者に 10月～12月の10か月健診時に5回実施する。 24回実施 1,220組
赤ちゃん和妈妈・パパのおはなしタイム	ブックスタート後の親子を対象にした図書館ガイダンス、おはなし会、絵本の読み聞かせ、わらべうたのほか乳幼児期の読書について説明する。図書館の使い方の説明や利用カード登録を行い、今後の図書館利用を促す。 開始:平成18年10月 月1回・午前・午後実施 実施状況:令和2年度 4月～11月:コロナ禍のため中止 12月より再開 24回実施 53組 112人
うさみみタイム 対象:児童	絵本や紙芝居の読み聞かせ、児童書等を原作とする児童映画を上映し、読書のきっかけとする。 開始:昭和62年度 毎週木曜日 4月～10月:午後3時30分～ 11月～3月:午後3時～ 実施状況:令和2年度 4月～8月(1週目まで):コロナ禍のため中止 (映画上映は、年間を通じ中止) 31回 310人
クリスマスおはなし会 対象:児童	子どもたちに親しまれている季節行事のクリスマスに関連する絵本の読み聞かせや映画上映等を通じて、子どもの読書活動の推進を図る。毎年12月の土曜日に実施することで、平日は図書館に来館しにくい小学生や、図書館

	未利用の子どもたちの参加を図る。 開始:平成16年度 年1回(令和2年度はコロナ禍のため中止)
ブックリスト 「このほんよんだ」 対象:児童	図書館児童担当が選んだおすすめ本のブックリスト。小学生対象に毎年夏休み前に発行。図書館(本館・分館)にコーナーを設置し、複本も用意して多くの子どもたちが借りられるようにしている。小学校・公民館図書室にもブックリストを配布し、公民館図書室には該当図書を配本し、市内全域の子どもたちが利用できるようにしている。
児童文化講座 対象:児童保護者	子どもを取り巻く大人を対象に、子どもの成長に読書が果たす役割や、本と出会うことの大切さ等を伝え、子どもの読書活動の推進を図る。 開始年度:昭和62年度 年1回 実施状況:令和2年度 「図書館で科学あそび! ~宇宙の不思議~」 講師:藤高 信男氏 9組19人
子ども読書の日 お楽しみ映画会 対象:児童	子ども読書の日前後に児童文学を原作とした映画上映により、読書のきっかけをつくり、併せて図書館の利用促進を図る。 開始年度:平成26年度 年1回(令和2年度はコロナ禍のため中止)
夏休み子ども映画会 対象:児童	夏休みに児童文学を原作とした映画を上映することで読書のきっかけをつくり、併せて図書館の利用を促進する。 開始年度:平成26年度 年1回(令和2年度はコロナ禍のため中止)
夏のおはなし会 対象:児童	パネルシアターや紙芝居・おはなしの語りなどを実演し、読書のきっかけづくり、図書館利用の促進を図る。 実施状況:令和2年度1回実施 20人
青少年対象講座 対象:ティーンズ	中学生・高校生を主な対象として、講座参加を契機に、図書館に来館してもらい、図書館や読書に、興味・関心をもってもらう。また、その際に図書館資料等のPRを行い、利用を働きかける。 (令和2年度はコロナ禍のため中止)
シネマラソン 対象:ティーンズ	映画上映を通して、青少年に図書館に親しみをもってもらい、来館を促進する。(令和2年度はコロナ禍のため中止)
テーマ展示 対象:ティーンズ	季節や、その時の話題に合わせた「テーマ」を設定し、読書案内を行い、利用推進を図る。特集内容は、図書館ホームページで紹介する。 実施状況:令和2年度 4月～6月:コロナ禍のため中止 7月～8月「Teen's 夏の自由研究」 9月～11月「これも学習マンガだ!」 11月～令和3年1月「メモリアル作家2020」 令和3年1月～3月「ボードゲームで遊ぼう!」 令和3年2月～4月 「埼玉県の高校図書館司書が選んだイチオシ本2020」

	令和3年3月～5月「科学道2020」
【北朝霞分館】 キッズシネマ 対象:児童	日本の昔話や外国の名作映画を鑑賞することにより、図書館に親しみ、たくさんの本と出会えることを目的とする。 内容:春休みに産業文化センターホールで開催。 約90分で数本の映画を上映する。 (令和2年度はコロナ禍のため中止)
【北朝霞分館】 えんじょいきっず 対象:児童	小学生に図書館業務を体験してもらい、より身近な図書館として利用できるように促し、楽しい本に出会えることを目的とする。 実施状況:図書館システムを使用して、貸出・返却業務や本の修理、工作や本探し等を小学生に体験してもらう。 令和2年度 3回実施 10人
【北朝霞分館】 絵本のよみきかせ 対象:児童	絵本のよみきかせや手遊びを通じて、絵本の楽しさを子どもたちに体験してもらう。 実施状況:令和2年度 4月～8月:コロナ禍のため中止 9月より再開 7回実施 118人

(2) 保育園

活動名等	取組内容
おはなしの木 実施:溝沼保育園 泉水保育園 さくら保育園 栄町保育園	ボランティア活動 実施状況:3か月に1回、保育園の園児(3～5歳児)向けに 絵本・紙芝居、手遊び等の実施。
どろんこ文庫 実施:浜崎保育園	保護者会主催の文庫 園児が絵本に親しみ興味をもつことを目的に書棚を設置している。 実施状況:①絵本の貸出(在園児が自由に絵本を借りられる。) ②管理・修繕・補充は保護者会で行う。
「いっしょにあそぼう保育園で」の際に絵本紹介をする 実施:浜崎保育園	地域の親子を対象として年齢に合った絵本を紹介し興味をもってもらう。 実施状況:不定期。事業時間に絵本等を手にできる・触れる機会を持てるようにする。 (令和2年度はコロナ禍のため中止)
保育園での取組 実施:浜崎保育園	絵本に興味や親しみをもつ。 実施状況:①日々の保育の中で子どもたちが季節や行事、年齢に合った本を手にとれるように置く。 ②保護者にも読んだ絵本等の紹介をする。
図書館の利用 実施:浜崎保育園	北朝霞分館から絵本、紙芝居を帯出する。 実施状況:①延長保育時間等に1～5歳児へ提供する本を用意する。

	②週1回で貸出本を交換している。 (令和2年度はコロナ禍のため中止)
日常の中で絵本に親しむ 実施:東朝霞保育園	絵本に親しむ。 実施状況:①日々の保育の中で、子どもたちが季節、年齢に合った絵本に親しみ、手に取れるように置く。 ②担任が年齢に応じた絵本や紙芝居を選び読み聞かせを行う。 ③保護者に読んだ絵本を紹介する。クラスだよりや懇談会で絵本を紹介する。
「いっしょにあそぼう保育園で」における絵本の紹介 実施:東朝霞保育園	地域の親子に年齢の合った絵本を紹介し、興味・関心をもってもらう。 実施状況:不定期。自由遊びの中で絵本を手にとれるように置き、触れる機会をもてるようにする。(令和2年度はコロナ禍のため中止)
5歳児の図書館利用 実施:東朝霞保育園	5歳児が図書館に行き、絵本や紙芝居を借りてくる。 実施状況:不定期。一人一人が借りたい本を選び借りてくる。
こだま文庫 実施:溝沼保育園	保護者会主催の文庫で園児が絵本に親しむことを目的に書棚を設置。絵本の貸出もしており管理等は保護者が行う。書棚のそばには椅子が置いてあり親子で絵本を楽しむ姿が多く見られる。
保育園での取組 実施:溝沼保育園	季節、年齢にあった絵本を子どもたちが手に触れられるようにしたり、保育者が読み聞かせをしたりする。絵本を保護者向けのクラスだよりで紹介する。
4～5歳児の図書館の利用 実施:本町保育園	気候の良い時期に折にふれ図書館へ行き、子どもたち各自で好きな絵本や図鑑を借りて園で見ている。友達同士交換し合ってみる姿もある。
絵本の読み聞かせ 実施:本町保育園	お昼寝の前や活動の節目に絵本・紙芝居の読み聞かせを行っている。また、その日読んだ本などをお迎えの保護者に見やすいように掲示して家庭での読み聞かせのきっかけになればと考えている。 また、保育室では、いつでも子どもたちが本を手にとることができるように設定している。
絵本・紙芝居の読み聞かせ 実施:根岸台保育園	各クラスごとに、保育中・お昼寝前や夕方など
つくし文庫 実施:根岸台保育園	保護者会管理の貸出文庫。 日中の保育にも本を借りて自由に読めるようになっている。
絵本の読み聞かせ 実施:北朝霞保育園 (本園・分園)	絵本に親しむ。 実施状況:子どもが自由に閲覧できるよう各部屋に絵本を置いており、保育士は個人やクラスを対象に読み聞かせをする。保護者に対し懇談会やおたよりで絵本の紹介などにより興味・関心をもたせる。
お話の出前 実施:北朝霞保育園	「絵本に親しむこと」を目的としたボランティアグループの活動で、定期的に3・4・5歳児中心に絵本の読み聞かせをしてもらう。

(本園)	実施状況:1月に1回年 10 回開催(4・8月は未開催)、1回に2人のボランティアが来園し、絵本の読み聞かせを行っている。
近在の図書館からの 本の団体借入 実施:北朝霞保育園 (本園)	主に5歳児が中心になり、図書館で読書を楽しんだり絵本を借りてきたりする。 実施状況:年数回。新しい絵本に触れ、自分たちで読んだり、保育士に読んでもらったりして楽しんでいる。
さくらんぼ文庫 実施:北朝霞保育園 (本園・分園)	保育園の保護者会主催の文庫で、園児が絵本に親しむことを目的に、書棚を置いている。親子で絵本を選び自宅に持ち帰り楽しむことができる。 実施状況:絵本の貸出・管理・修繕・補充を保護者会で行っている。
いずみ文庫 実施:泉水保育園	保育園の保護者会主催の文庫 園児が絵本に親しむことを目的として書棚を設置している。 実施状況:絵本の貸出・管理は保護者会で行う。
絵本の読み聞かせ 実施:さくら保育園	絵本に親しむ。 実施状況:各保育室に年齢に合った絵本、図鑑等を置き、子どもたちが自由に取って見ることができるようにしている。保育士が毎日読み聞かせをしている。保護者に今日読んだ絵本を紹介している。
いっしょにあそぼう 保育園で 実施:さくら保育園	地域の親子に年齢に合った絵本を紹介し、興味関心を持ってもらう。 実施状況:絵本を手にとれるように置く。絵本の紹介、大型絵本の読み聞かせ等を実施している。(令和2年度はコロナ禍のため中止)

(3)子育て支援センター

活動名等	取組内容
おはなしげんきっこ 実施:きたはら子育て 支援センター	来所の親子に、絵本や紙芝居に親しんでもらう目的で、職員が季節や年齢に合った内容を選び読んでいる。パネルシアター、エプロンシアター、大型紙芝居など実施している。 実施状況:月 2 回実施
絵本の日 実施:さくら子育て 支援センター	絵本や大型絵本の読み聞かせをしたり、エプロンシアター、パネルシアターなどを行っている。読んだ絵本を親子で手に取り読む時間を設けている。 実施状況:月1回(午前、午後) (コロナ禍により時間制限していたため各時間ごとに実施 4回)
むかしばなし 実施:さくら子育て 支援センター	日本のむかしばなし、世界のむかしばなしの紙芝居の読み聞かせを行っている。 実施状況:2か月に1回

絵本・育児雑誌・子育てに 関する本の貸出 実施:さくら子育て 支援センター	本コーナーの本をいつでも自由に手に取り、読めるようにしている。貸出も行っている。 (コロナ禍により時間制限をしていたため、各時間ごとに絵本を選んで出している)
絵本・子育てに 関する本の貸出 実施:なかよしぱあく	館内では、母親向けの本や絵本を自由に手に取れるようにしている。貸出も行っている。

(4)放課後児童クラブ

活動名等	取組内容
お話サークル「OHANA」 による本の紹介・公演 実施:全ての放課後 児童クラブ	季節に合った本の紹介をおたよりとして発行し掲示。公演という形で各クラブを回り、物語への興味を深め、実際に本を手にとってもらえるよう促す。 実施状況:毎月1回おたよりを発行し、各クラブに配布・掲示。 季節ごとの行事に合わせて各クラブを回り、年1回ペープサートや影絵などの公演を行う。(令和2年度はコロナ禍のため中止)
良質な本の提供 (リサイクル図書の活用) 実施:全ての放課後 児童クラブ	子どもたちが興味をもち読書に親しめるような書籍の確保。 リサイクル図書を活用し、クラブ内の充実を図る。ジャンル別にした本棚を設置し、自由に子どもたちが読書できるように心がける。 実施状況:年間予算に基づき、定期的に購入している。市立図書館のリサイクル図書を譲り受け、活用している。
1日保育(春・夏・冬休み等学校休業日)時の学習後の本読み 実施:全ての放課後 児童クラブ	学習の1つとしての取組で行っている。本の内容把握。 実施状況:物語や絵本をじっくり読む(30分)。
1日保育時の 昼食後の本読み 実施:全ての 放課後児童クラブ	昼食後、すぐに動くのではなく体を休め、落ち着かせるための食休みを行っている。 実施状況:子どもが好きな本を読む。
書籍の整理 実施:全ての放課後 児童クラブ	シリーズ、テーマ別に整理し、子どもが見やすく手に取りやすくする。 実施状況:整理することによって、見やすく戻しやすくなり、本棚の見た目もきれいになった。
自由遊び中の本読み 対象:読書したい子ども 実施:全ての放課後 児童クラブ	クラブ内にある本、どれでも好きな本を読むことができる。 実施状況:お友だちと内容を話しながら読んだり、情報交換したりしている。本の中に出てくるキャラクターの絵を自由帳やトレーシングペーパーに描いたり、それぞれ読書を楽しんでいる。

お話遊び 実施:障がい児放課後児童 クラブなかよし	絵本のストーリーに合わせた小道具を用意し、それぞれの子に配役を決めてもらい、それぞれの子に積極的に、そして主体的に物語に参加してもらいながら読み聞かせを展開する。 実施状況:毎週水曜日
---	--

(5)児童館

活動名等	取組内容
おたより発行 実施:全ての児童館	毎月発行しているおたよりに「今月の絵本」(おすすめ図書)を掲載している。 実施状況:毎月1回
おはなし劇場 実施:きたはら児童館	乳幼児とその保護者、小学生以上を対象に絵本やパネルシアター、紙芝居の読み聞かせを行い、本に対する興味を引き出す。 実施状況:月1回(令和2年度はコロナ禍のため中止)
ちびっこランド 実施:きたはら児童館	乳幼児向け事業の中で講師を招いてパネルシアターを行う。親子のスキンシップを図ることを目的に実施。 実施状況:月1回(令和2年度はコロナ禍のため中止)
おはなし広場 実施:はまさき児童館	職員による絵本、紙芝居等の読み聞かせや、パネルシアターを実施している。 実施状況:月1回 令和2年度は実施6回・中止6回
ちびっこランド 実施:はまさき児童館	親子のふれあいを目的として年齢ごとに乳幼児向け事業を実施。その際、絵本の読み聞かせ等を取り入れている。 実施状況:月1回(令和2年度はコロナ禍のため中止)
おはなしタイム 実施:みぞぬま児童館	本に親しみ、興味をもつ機会を提供する。 実施状況:月1回(1日2回) 午前 乳幼児対象 午後 幼児・児童対象 令和2年度は3回実施
なかよしダンスタイム 実施:みぞぬま児童館	本に親しみ、興味をもつ機会を提供する。幼児体操や手遊び、絵本の読み聞かせを20分程度実施。 実施状況:平日毎日(令和2年度はコロナ禍のため中止)
十小読み聞かせ 実施:みぞぬま児童館	朝霞第十小学校の図書館まつりで本の読み聞かせを行う。 読み聞かせサークル「はっぴい」さん協力のもと昼休み時間に実施。 実施状況:年1回(10月頃)(令和2年度はコロナ禍のため中止)
おはなし玉手箱 実施:ねぎしだい児童館	乳幼児とその保護者を対象にパネルシアター、エプロンシアター、大型絵本等を通しておはなしの世界を楽しむ。 実施状況:月1回(令和2年度はコロナ禍のため中止)
レッツキッズ 実施:ねぎしだい児童館	本に親しむ機会の提供。 毎日約15分、乳幼児を対象に幼児体操、手遊び、本の読み聞かせを行う。 実施状況:平日毎日(令和2年度はコロナ禍のため中止)
ちびっこランド	親子のふれあいを目的として年齢ごとに乳幼児向け事業を実施。

ウィズキッズ 他 対象:未就学児 実施:ねぎしだい児童館	その際、絵本の読み聞かせやパネルシアター等を取り入れている。 実施状況:各事業 月1回(令和2年度はコロナ禍のため中止)
おはなしスイッチ 実施:ひざおり児童館	本に親しみ、興味をもつ機会の提供。幼児とその保護者を対象に絵本の読み聞かせ、紙芝居、パネルシアター等を 20～30 分程度実施。 実施状況:月1回(令和2年度はコロナ禍のため中止)
ダンススイッチ 実施:ひざおり児童館	本に親しみ、興味をもつ機会の提供。幼児体操や手遊び、絵本の読み聞かせを 20 分程度実施。 実施状況:平日毎日(令和2年度はコロナ禍のため中止)
ちびっこランド 実施:ひざおり児童館	親子のスキンシップ、仲間づくり等を目的として、未就学児の子どもとその保護者を対象に、幼児体操やおはなしを行うほか、季節に合わせた遊び等を楽しんでもらう。 実施状況:月1回(1日2回)(令和2年度はコロナ禍のため中止)
スイッチ1(ONE) 実施:ひざおり児童館	親子のスキンシップ、仲間づくり等を目的として、1歳児の子どもとその保護者を対象に、ふれあい遊びやおはなしを行うほか、2歳の誕生会を行い、楽しんでもらう。 実施状況:月1回(1日2回)(令和2年度はコロナ禍のため中止)
ちびっこランド 1才で PON! 他 対象:未就学児 実施:ほんちょう保育園	親子のふれあいを目的として年齢ごとに乳幼児向け事業を実施。その際絵本の読み聞かせ等を取り入れている。 実施状況:各事業 月1回(令和2年度はコロナ禍のため中止)
おはなしで PON! 実施:ほんちょう保育園	本に親しみを持ち興味を持つ機会を提供する。 実施状況:月1回(令和2年度はコロナ禍のため中止)

(6)幼稚園(代表として「朝霞花の木幼稚園」の取組を掲載)

活動名等	取組内容
読書コーナー	保育室内の一角に図書コーナーを設けている。自由遊びに園児が利用する。
月刊絵本(総合絵本)	毎月保育に取り入れている。生活指導や季節、生物に興味・関心をもてるよう取り入れている
大型絵本	全体(クラス、集会など)への読み聞かせ
パネルシアター エプロンシアター	保育中に実施
図書室 (えほんのおへや)	園内に絵本を自由に楽しめる図書室があり、週に 1 回貸出を行っている。

(7)児童発達支援センター（みつばすみれ学園）

活動名等	取組内容
読書コーナー (絵本ランド むるきい)	園内の一角に図書コーナーを設けている。クラスごとに利用したり、自由遊びで園児が利用する。
見る・聞くあそび	興味・関心を広げる。注目・集中を促す。 実施状況：大型紙芝居や絵本、パネルシアター等を使い、1クラス～全クラス合同(5人～30人くらい)で、職員が読んでいる。題材は、年齢や対象児の興味の様子によって選んでいる。(繰り返しのもの、短いもの、言葉の音が面白いもの、ストーリーのわかりやすいもの、絵柄がはっきりしているもの、写真等)
絵本の時間	好きな絵本を選ぶ。興味・関心を広げる。 実施状況：朝の会前に、全員が揃うまでの間、子どもたちが好む絵本を2～3冊呈示して選び、職員に依頼し、読む。針時計を使用し、「矢印のところに長い針がきたら、絵本はおしまい」と約束して行う。
ごっこあそび	お話をまねして、ごっこ遊びをしてみる。 実施状況：子どもたちの好きな絵本を題材に、ごっこ遊びを行う。例えば「大きなかぶ」や「もりのおふろ」等、身近な人物や動物が出てくる、繰り返しの場面とお決まりのセリフ等いくつかのキーワードを、絵本を通して子どもたちに伝え、演じて楽しむ。また、小道具を製作につなげることもある。

(8)朝霞第一小学校

活動名等	取組内容
司書教諭の活用	図書主任・図書館サポートスタッフと連携し、学校図書館資料の選択・提供・管理とともに、「読書週間」等の読書活動の取組を行っている。
図書館サポートスタッフの活動 (1・2年生の読書授業)	図書の貸出・配架・修繕管理・読書活動の支援及び推薦図書の紹介を行っている。 1・2年生の読書授業(週1回)では、「国語や総合等の授業と連携」を実施。副読本を中心に10分～15分の集中読書を行っている。読書後は、登場人物や感情・感想を発表したり、読書カードに記入する。読み聞かせでは、聞き手も一緒に読む「参加型読み聞かせ」本の絵を見せない「想像読み聞かせ」を実施。読書をする時間と種類を増やし、場面の想像や気持ちの読み取りができるように工夫している。 ペア読み：。(句読点)読みやページで区切り、二人で行う。 協力することで、完読の達成感を味わう。読後の感想を伝えあい、相手の気持ちとの相違を確認する。

学級文庫	子どもたちが、身近に本に触れる環境を作ることにより、読書の習慣化を図る。図書室・市立図書館のリサイクル本を利用して、各クラスに配布している。
夏休み・冬休み前の本の貸出	夏休み・冬休みともに、3冊を貸出している。その内1冊は、文学(物語・絵本)を選択させる。最後まで読みきる力や達成感を味わせる。
その他の取組 調べ学習用図書配置 おすすめ本の紹介	調べ学習を充実させるために、授業実施時には教室前や教科(理科・少人数)教室に図書・資料を配置している。 学期ごとに、低・中・高学年用のおすすめ紹介カードをつくり、掲示している。
読書週間 貸出イベントの開催 イベント期間中の読書授業	毎年11月に読書週間《貸出イベント》を開催している。期間は2週間程度。内容は年度によって多少異なるが以下のように読書推進を図っている。 ○イベント 学年ごとのスタンプラリーとクイズ(2冊目券・しおりの配布) 教師が選ぶ推薦図書の掲示 各学年への「おすすめ本」の配置 分類(十進法)ビンゴ ○読書授業(主に1～3年生) プレゼント交換読書 読書おみくじ 福袋どくしょ

(9)朝霞第二小学校

活動名等	取組内容
司書教諭の配置 (図書館サポートスタッフ)	サポートスタッフが図書委員(児童)とともに図書室の本の貸出や図書の整理、図書室の環境整備等を行っている。また、学期始めや終わりに図書室便りを発行。内容は、貸出や返却の期日、新着図書の紹介など。
全校一斉朝読書の実施	毎週水曜日、朝の15分間、全校読書の時間を設定している。児童一人一人が静かに読書に取り組んでいる。
学級文庫の活用	各学級に図書があり、図書室で古くなった図書や毎年の課題図書を入れている。平成28年度から、PTAの係が整理することになった。
夏休み冬休み前の 本の貸出の実施	長期休みの1週間前に、児童一人3冊まで貸出を行っている。
ボランティアによる 読み聞かせの実施	保護者ボランティアの「おはなしのたね」による読み聞かせと、テーマに沿った本の紹介を実施している。朝自習の時間帯に週1回(各クラス学期に3回程度)。(令和2年度はコロナ禍のため中止)
児童集会での発表	全校児童集会の時に、図書委員が描いたポスターを見せながら、数冊の本を紹介する。図書委員会が実施。(令和2年度はコロナ禍のため中止)
おすすめの本の紹介	図書委員会の児童によるおすすめの本の紹介を掲示する。

読書ビンゴの実施	全校児童に読書ビンゴカードを配布し、4ビンゴになると、図書委員による手作りのしおりをプレゼントする。図書委員会が実施。 (令和2年度はコロナ禍のため中止)
読書スタンプラリーの実施	読書した量(低学年は冊数、高学年はページで)でスタンプを押して、読書量の増加を図る。(令和2年度はコロナ禍のため中止)
本の予約	次に読みたい本があったら予約することができる。
各学年へのセット貸出	学習に必要な本を学年ごとにまとめて貸出している。

(10)朝霞第三小学校

活動名等	取組内容
司書教諭の活用	現在4名の司書教諭が在籍。学校の校務分掌の関係で、全員が図書館教育に関わる仕事ではないが、図書館教育担当へのアドバイス等を行っている。
学校司書 (図書館サポートスタッフ)の活用	図書の貸出、修繕等の管理、読書活動の支援及び本の紹介。 実施状況:授業日の午前10時から午後2時までの勤務。図書館の利用促進や読書活動の奨励を呼びかけるプリントや掲示物の作成、推薦図書の回覧等、児童の図書委員会への指導も含め、精力的な取組を行っている。
図書委員会によるイベントの実施	図書委員会の児童が企画から実施を行う。 実施状況:令和2年度 読書スタンプラリー・しおりコンテスト・返す日守ろうキャンペーン
本の予約とリクエストの実施	貸出中の本を予約したり、図書室に置いてほしい本のリクエストをできるようにしている。
学年やクラスへのセット貸出	学習に必要な本を中心に、各学年や各クラス単位でセット貸出している。
朝読書の実施	毎週月曜日8時30分から8時40分まで朝読書を実施している。
学級文庫の活用	各学級で独自に実施している。図書室や朝霞市立図書館のリサイクル本を活用する場合もある。
夏休み・冬休み前の 本の貸出の実施	原則として一人3冊までの貸出となっている。 通常期は、一人2冊までの貸出。
その他の取組	学校応援団の活動として読み聞かせボランティア「おはなしたからばこ」が活動している。活動日は毎週月・朝読書の時間、昼休み。活動内容としては、全学年を対象に、学年ごとに絵本や紙芝居の読み聞かせを行っている。また、昼休みは工作教室も開催している。児童も楽しみにしている活動である。 (令和2年度はコロナ禍のため中止)

(11)朝霞第四小学校

活動名等	取組内容
司書教諭の活用	学校図書館の読書センター及び学習情報センターとしての機能の充実を図るために活動計画の立案から実施まで中心的な役割を担う。 具体的な活動内容:学校図書の選定、図書室における本の貸出等の図書委員会活動の指導、管理、夏休みの読書感想文募集など。
学校司書の活用	司書教諭に協力し、学校図書館の利用促進、読書活動の励行にむけた取組を行っている。 具体的な活動内容:図書の貸出、配架、修繕等の管理、図書委員会活動の支援、読書活動・調べ学習活動の支援、図書室の季節に合わせた壁面飾りなど。
朝読書の実施	週2回、取組を実施している。 実施状況:毎週月・木曜日の朝の時間(8時25分～8時40分)に、15分間の読書時間としている。この時間に保護者のボランティアによる読み聞かせ「まつぼっくり」の活動が全学年を巡回する形で行われている。
全校読書の実施	上記、朝読書を全校で実施。また、学期に一度、昼休みに、「まつぼっくり」(保護者のボランティアの読み聞かせグループ)による読み聞かせ、パネルシアターなどのイベントが実施され、児童には大変好評である。
学級文庫の活用	特に朝読書に積極的に活用されている。 朝霞市立図書館のリサイクル本、図書室蔵書の廃棄本の再利用、さらに、図書室の蔵書を学年・学級文庫名で貸出利用することで学級文庫の充実、活性化に努めている。
夏休み・冬休み前の本の貸出の実施	1年生から4年生までは一人3冊まで、5・6年生は一人5冊まで貸出を実施。
その他の取組 (読書記録カード)	読書の学年目標を設定し、読書後、記録用紙に記録する取組を実施。 学年目標に到達した児童には葉をあげ、児童名の掲示発表を行い、さらに年度末に賞状にて表彰する。

(12)朝霞第五小学校

活動名等	取組内容
司書教諭の活用	学校図書館の活用計画の立案、実施、特に図書室の本の貸出、管理をスムーズに行うために配置されている。
学級文庫の活用	子どもたちが、日常的に身近に本に触れる環境をつくることにより、たくさんの本に親しむとともに、読書の習慣化を図る。 実施状況:各クラスに学級文庫を置き、いつでも読めるようにしている。
夏休み・冬休み前の	夏休みや冬休み前に、休業中に読む本の貸出を行う。長期休業中、本に親し

本の貸出の実施	むきっかけづくりとなることをねらいとしている。 実施状況:貸出期間や借りる冊数を決め、休業中に読む本の貸出を行っている。
絵本パパママサークルによる読み聞かせ	PTAの「絵本パパママサークル」による読み聞かせを行っている。 実施状況:朝の時間に各クラス、1週間に1回程度、読み聞かせを行っている。
絵本パパママサークルによるお話会	PTAの「絵本パパママサークル」によるお話会を行っている。 低学年・高学年に分かれて、学期に1回、お話会を休み時間に行っている。 (令和2年度はコロナ禍のため中止)
図書コーナーの設置	2、3、4階の一角に、各学年の児童の実態に応じた本を配置し、雨の日の休み時間に、本を読めるようにしている。
図書だよりの発行	学校図書館サポートスタッフによる図書だよりを発行している。図書室からのお知らせや新しい本の紹介などを各クラスに掲示している。
図書委員によるおすすめの本	図書委員会の児童による「おすすめの本」を大広場に掲示している。低・中・高学年向けに分け、おすすめの本を紹介している。
図書委員の活動	どくしょクイズやしおりコンテスト、図書室内や学校内の掲示物作成を行い、図書室に行きやすい雰囲気づくりを行っている。
教員、事務職員によるおすすめの本	教員や事務職員による子どもたちにおすすめの本の紹介を大広間に掲示するとともに、図書室でもおすすめ本コーナーを設置している。

(13)朝霞第六小学校

活動名等	取組内容
司書教諭の活用	学校図書館活用計画の立案・実施 委員会児童の指導、生徒指導朝会の活用 本の選定・管理、教諭と司書サポーターのパイプ役
学校司書の活用	新入生オリエンテーション、図書館だよりの発行 教諭と司書教諭のパイプ役、図書委員会児童の指導 本の選定・管理
朝読書の実施	毎週木曜に読書の時間を取り入れており、その中で月1回読み聞かせを実施。
全校読書の実施	同上
学級文庫の活用	年2・3回の点検・廃棄・配布を行う。
夏休み・冬休み前の 本の貸出の実施	各学年の読書カードを活用、読書感想文への取組 夏休み・冬休みの本の貸出 1人3冊ずつ行っている。
コーナーの設置	誰もがわかりやすい配置を目指して日々配置転換を行っている。 新書・作者別・シリーズ別・学年別にし、区分けボードを設置
読書月間	生徒指導の今月の目標設定に合わせて、委員会で読書カードを作成、低・中・高学年ごとに設定された目標冊数を借りると、児童はしおりがもらえる。

	年間貸出上位者は、表彰する。
おはなしの木	学校応援団の保護者の活動 親子ふれあいまつりでの読み聞かせ、朝読書の時間に低・中・高各月1回ずつ読み聞かせを各教室にて行う。 (令和2年度はコロナ禍のため中止)
本の予約	次に読みたい本の予約ができる。本が返却されたらお知らせを渡す。
委員会活動	学校図書館の利用アップのための取組を行う。 図書館の使い方、おすすめの本の紹介、学年ごとのおすすめの本を図書館に掲示する。放送による呼びかけ。
学年別セット貸出	教科で必要な資料本を学年ごとに貸出している。

(14)朝霞第七小学校

活動名等	取組内容
司書教諭の活用	「学校司書」と連携し、学校図書館資料の選択・収集・提供や児童の読書活動に対する指導を実施した。
図書館サポートスタッフ の活用	図書館サポートスタッフが午前10時から午後2時まで図書室に執務、本の貸出や本の整理、図書室の環境整備等を行っている。学校図書館の活用計画の立案、実施、特に図書室の本の貸出・管理をスムーズに行うために配置している。
朝読書の実施	11月から2月までの毎週木曜日に学級の時間を使い、朝読書の取組を毎年行っている。朝読書の時間確保により、児童の読書量を増やしたり、多くの本に親しむ機会を増やしている。また、国語などの学習活動に役立てる。
全校読書の実施	七小読み聞かせサークル「ぐりとぐら」の方の協力のもとに朝自習の時間、低・中・高に分かれ、学年の実態に合った内容の絵本の読み聞かせを行うことにより、本の楽しさを味わうことをねらいとしている。
学級文庫の活用	子どもが、日常的に身近に本に触れる環境を作ることにより、たくさんの本に親しむとともに、読書の習慣化を図る。
夏休み・冬休み前の 本の貸出の実施	夏休み前・冬休み前に休業中に読む本の貸出を行う。長期休業中、本に親しむきっかけづくりとなることをねらいとする。また、夏休み前には課題図書になっている本を学年で回し、児童に読書感想文への興味をもたせる。
「としょだより」の発行	月に1回のペースで、図書館サポートスタッフが作成。おすすめの本の紹介や、図書イベントのお知らせなどを記載している。児童、保護者および、教職員全員に配付。また各教室、図書室内に掲示している。
読書スタンプラリーの実施	全校児童にスタンプラリーのカードを配付し、読書意欲を高める。(実施期間10月下旬頃～12月まで) スタンプラリーが終了した児童には、図書委員が作ったしおりを渡す工夫をしている。
図書委員による	図書委員会の児童による「おすすめの本」を低学年・中学年・高学年にわけて

おすすめの本の紹介	ポスターを作成、各階の掲示板に掲示。
コーナーの設置	図書室内にコーナーを設置し、季節ごとに本や掲示を変えることで読書意欲を高める工夫をしている。
本の予約	次に読みたい本の予約ができる。本が返却されたら該当の子どもにお知らせする。
学年別貸出	教科で必要な資料本を学年ごとに貸出している。

(15)朝霞第八小学校

活動名等	取組内容
司書教諭の活用	学校図書館の活用計画の立案、実施を行っている。学校図書館サポートスタッフ(会計年度任用職員)と連携し、学校図書館の本の貸出・管理をスムーズに行えるようにしている。
学校司書の活用 (学校図書館 サポートスタッフ)	新入生オリエンテーション、図書だよりの発行、図書委員会児童のサポート、本の選定・管理を行っている。また、必要に応じて国語の図書室利用授業において読み聞かせを行っている。(令和2年度の読み聞かせはコロナ禍のため中止)
朝読書の実施	集中して本を読む時間を朝の15分間に位置づけ、本を読むことの楽しさ、集中して読書する時間の快さを一人一人の児童が味わえるようにする。毎週水曜日に実施。
全校読書の実施	朝読書を全校で行っている。
学級文庫の活用	子どもたちが日常的に本に触れる環境づくりをすることにより、たくさんの本と親しむとともに、読書の習慣化を図れるようにする。 朝霞市立図書館よりクラスに本を借入れ、学級に設置している。
夏休み・冬休み前の 本の貸出の実施	夏休み・冬休み前に休業中に読む本の貸出を行う。長期休業中に本に親しむきっかけとなるようにする。通常一人1冊ずつの貸出のところ、この期間は一人2冊ずつ貸出を行っている。
その他の取組 読み聞かせ 「絵本の会ピッピ」	保護者サークル「絵本の会ピッピ」が月1回第2金曜日の休み時間に、学校応援団「八枚のはね」が月1回第3水曜日の朝読書の時間に絵本の読み聞かせを行い、子どもたちがより多くの本やお話に出会う場となるようにしている。 (令和2年度はコロナ禍のため中止)
読書月間	秋の読書週間に合わせて、学校図書館でも読書月間を設定し、子どもが本に親しむ。 スタンプラリー、ビンゴ、クイズ等を図書委員が準備し、図書室利用を促す取組を行っている。
コーナーの設置	国語の教科書で紹介されている本を他の図書とは別で配架し、児童だけでなく教師も活用できるようにしている。
委員会活動	学校図書館がスムーズに機能するため、休み時間に当番制で活動。また、委員会の時間に改善点を話し合ったり、読書月間で行うイベントの計画・準備作業を

	行っている。
本の予約・ 取り置きリクエスト	子どもが次に借りたい本の予約や取り置きをしている。また、学校図書館にはない本で子どもが読みたいものをリクエストできる用紙を配置して選書の参考にしている。
学年別セット貸出	教科で必要となる本を一人1冊使用できるように、最低でも1クラス分の冊数を用意し、学年にまとめて貸出をしている。
図書以外の資料の収集	主に調べ学習時にパソコン、図書以外の資料として活用できるよう、地方自治体や各観光協会発行のパンフレットを取り寄せている。

(16)朝霞第九小学校

活動名等	取組状況
朝読書	学校全体で、本を読む時間を毎週火曜日の朝に位置づけている。本を読むことの楽しさ、集中して取り組む心地よさを一人一人の児童が味わう。
全校読書集会	学期に1回、児童が集い、読み聞かせにより本に親しむ。 1学期と3学期は、学校応援団や保護者ボランティアによる読み聞かせを低・中・高学年に分かれて実施。2学期は、読書月間(10月、11月)中に全校児童が一堂に介し、司書教諭と学校図書館サポートスタッフによる読み聞かせを行った。(令和2年度はコロナ禍のため中止)
学校図書館(図書室)の開放	読書月間(10月、11月)に、学校図書館の開放を行った。開放中は学校図書館サポートスタッフ等、常時、担当者が在席し、訪れた地域・保護者の方に対応する。貸出も可能。「家族読書」を奨励していることもあり、家族で読むために本を採る保護者もいた。(令和2年度はコロナ禍のため中止)
「読書の木」	読書月間(10月、11月)中、学級でひとつ「読書の木」をつくる。全教室の掲示板に同じ木の大きさで、同じ場所に、一斉に作成する。 木の根と幹、枝を学級に配布し、児童が読んだ本の紹介を「葉」に書いて次々に幹や枝に貼っていく。貼りきれず、根の周りに葉を散らせたり、風に葉を舞わせたり、重ねて葉を繁らせたりと学級ごとに工夫していた。 (令和2年度はコロナ禍のため中止)
読書月間	読書月間(10月、11月)を設定し、読書活動推進の取組を行った。図書委員会の児童の取組として、学校図書館に来室した児童に手作りのしおりを渡したり、図書室の飾り付けを行ったりした。「読書の木」、「家族読書」、「学校図書館の開放」、「新着本、推奨図書の紹介」、「先生方からのおすすめ本コーナー設置」等、実施した。
朝霞市立図書館の 児童図書を学級文庫に	朝霞市立図書館と連携し、学級文庫を設置している。学期に1～2回、文庫委員の保護者が、学級ごとに朝霞市立図書館に訪問し、学級文庫として学級60冊程度、借りてくる。本の貸出から返却まで文庫委員(保護者)が行い、文庫リストも作成する。朝読書や普段の生活の中で、教室にいつでも「よい本」がある環境

	を作り出し、すぐに本を手にとれる工夫をしている。 (令和2年度はコロナ禍のため中止)
大学生による「読み聞かせ」	十文字学園女子大学や淑徳大学等、朝霞市が提携している大学から、学校体験実習に来ている大学生が、気軽に「読み聞かせ」を行っている。学級文庫を使って、休み時間に希望して集まってきた子どもたちに対し「読み聞かせ」を行っている。(令和2年度はコロナ禍のため中止)
図書の貸出	毎日、本の貸出を行っている(授業の間の休みと昼休み)。学校図書館サポートスタッフ等が立ち会うが、図書委員の児童がパソコンを操作しながら貸出、返却の処理を行う。平成28年度からは、低学年から高学年まで、一度に2冊、返却すれば毎日でも借りられるようにしたので、児童は積極的に本を借りている。
図書室での「読み聞かせ」	学校図書館サポートスタッフが、希望する児童に対し、読み聞かせを行っている。
推奨図書の紹介	「先生方からのおすすめ本」のコーナーを図書室に設置した。これは、教師に、「感動した本」、「児童に薦めたい本」を用紙に記入してもらい、図書室にある場合は速やかにコーナーに展示。ない場合は、購入して展示した。 「課題図書」、「埼玉県の推奨図書」など、児童の視覚に訴える展示やポスターを掲示した。
放送委員会による 給食時の放送による「朗読」	給食時、放送委員会が物語の朗読を行っている。 (令和2年度はコロナ禍のため中止)
高学年児童による「読み聞かせ」 教室訪問	朝読書の時間を活用して、5・6年生の代表児童が1・2年生の教室へ「大型絵本」を持って訪問し、「読み聞かせ」を行っている。 (令和2年度はコロナ禍のため中止)
「司書教諭ガイドブック」の活用 と司書教諭のリーダーシップ	埼玉県学校図書館協議会が発行している「司書教諭ガイドブック」を手元において、読書活動の推進に取り組んでいる。 年度当初、司書教諭から教職員に、学校図書館教育全体計画が示され、「学習センター・情報センターとしての学校図書館の管理・運営」について共通理解の下、指導にあたった。また、「豊かな心を育む読書活動の推進」を目指し、具体的な取組を説明し、年間を通しての見通し、読書活動の意義等、確認の上、組織的に読書活動を進めている。

(17)朝霞第十小学校

活動名等	取組内容
司書教諭の活用	学校図書館の活動計画の立案、実施を行っている。図書館サポートスタッフと連携し、学校図書館の本の貸出・管理を行うとともに、「としょかんまつり」等の読書活動の取組を推進している。
1・2年生の読書授業 (サポートスタッフの活動)	図書の貸出、配架、管理、読書活動の支援、推薦図書の紹介を行っている。1・2年生の読書授業(週1回)では「テーマのある読書の時間」を実施。テーマ別や

	参加型の読み聞かせ、テーマ別限定読書、2年生によるペア読書を行っている。授業中に読書する時間と種類を増やし、各自が自分で読めるように工夫している。
朝読書の実施	毎週火曜日 朝8時30分～45分の15分間を朝読書の時間に設定している。
全校読書の実施	朝読書の実施とともに、年数回、お話朝会で読み聞かせを行っている。
学級文庫の活用	日常的に読書に親しみ、読書の習慣化を図れるよう、学級に図書を置いている。市立図書館の貸出本も設置し、充実を図っている。
夏休み・冬休み前の本の貸出の実施	夏休みは4冊・冬休みは3冊の貸出を行っている。その内1冊は、文学・物語絵本を選択させる。長期休業中に長編や名作を読み、読書の幅を拡げ、読みきる力をつけ達成感を味わせる。
その他の取組 ・図書朝会 ・おすすめ本コーナー ・読書コーナー ・調べ学習用図書配置 ・読書の木 ・しおりキャンペーン (コロナ禍により令和2年度としょかんまつりが中止になったため)	としょかんまつりの取組紹介をかねて、図書委員会による図書朝会を実施している。(令和2年度としょかんまつりはコロナ禍のため中止) 課題図書などを推薦するために「おすすめ本」コーナーを設置している。低学年棟のコーナーに、絵本を中心とした読書コーナーを設置している。調べ学習を充実させるために、授業実施時には教室前に図書を配置などの取組を実施している。 クラスごとに読んだ冊数で花をつけていく「読書の木」の取り組みを実施している。シールをカードに貼って集め、図書委員がしおりをプレゼントする。
としょかんまつり ・スタンプラリーとクイズ ・早朝貸出 ・はっぴいさんと児童館職員による昼の読み聞かせ ・十小絵本大賞 ・「おすすめ本」の展示	毎年10月に読書推進のために2週間「としょかんまつり」を開催している。内容は、学年ごとの貸出スタンプラリー＆クイズ、朝休みの貸出、読み聞かせサークル「はっぴいさん」と児童館の方による読み聞かせ、全国学校図書館協議会「日本絵本賞」受賞5作品を読み聞かせて投票する「十小えほん大賞」の実施、教師や図書委員が選ぶ推薦図書の掲示など、読書推進を強化している。「十小えほん大賞」の受賞作品は、「はっぴいさん」と協力し、全学年に読み聞かせている。(令和2年度としょかんまつりはコロナ禍のため中止)
朝霞十小読み聞かせサークル 「はっぴいさん」 ・定期的な読み聞かせ ・学級文庫の充実 ・特別期間読み聞かせ ・担任と一緒に読み聞かせ	子どもへの読み聞かせ活動を通して、児童、教師、読み手の保護者も読書の面白さを認識し、楽しい時間を過ごすことを目的としている。原則として毎週火曜日の朝の読書の時間に読み聞かせを行う。学級文庫として市立図書館から借りた本を児童に提供。 「としょかんまつり」の期間中、昼休みの読み聞かせを行う。講師を招いての勉強会を開催。(令和2年度はコロナ禍のため中止)
学習ルーム配置図書	総合的な学習の時間などで行う調べ学習が円滑に実施できるよう、調べ学習に適する図書を集中的に配置している。

(18)朝霞第一中学校

活動名等	取組内容
朝読書の実施	学習習慣の向上と言語環境を充実させるため、朝の会の前に毎朝「朝の読書」を全校で実施。 実施状況：朝の読書用に家から一人1冊ずつ学校に本を持参し、時間があれば、朝の読書以外の時間も本を読んでいる。
夏休み、冬休み、春休み前の特別貸出実施	長期休業前に、特別貸出期間を設け一人10冊まで借りることができる。普段貸出禁止の学習漫画など借りることができる。
図書委員会の活動	生徒の自治会活動の一つとして、各学級から選ばれる図書委員が、学校図書館の利用促進、読書活動の励行に向けた取組を行っている。 実施状況：定期的に話し合いを持ち、貸出当番等の役割分担を行ったり、図書室利用の促進、読書活動の啓発の取組を実施している。
図書館サポートスタッフ の活用	図書の貸出、配架、修繕等の管理、読書活動の支援及び本の紹介。 実施状況：授業日の12時30分から16時30分まで勤務。図書館の利用促進や読書活動の励行を呼びかけるプリントや掲示を作成している。調べ学習における図書館の活用方法の指導、時季に応じた図書の配架、図書紹介のPOP等、図書委員の生徒と協働して魅力的な図書館経営に取り組んでいる。
図書キャンペーン	図書の貸出促進を目的としたキャンペーンを実施。キャンペーン期間約2週間を設定し、図書室の積極的活用を啓発。期間中、本を10冊借りた生徒に、図書委員が作成した葉をプレゼントした。
福袋キャンペーン	図書委員がおすすめの本を、1冊から3冊選び袋に本の紹介文(本の題名と著書名は書いていない)を貼り、袋詰めにした。期間は約2週間を設定し図書室の利用のきっかけとして実施した。
図書展示コーナー設置	課題図書、埼玉県推奨図書、本屋大賞など特別にコーナーを設置し、本を手にとってみたくなる環境を整えた。
配架場所の明示と指導	図書室の積極的活用を図る目的により、本を手にした生徒や返却業務を行う図書委員が円滑に本を書棚に戻すことができるよう、配架場所を明確にする工夫と指導を実施。
「図書室を知ろう」授業	新入生に向けて、図書室が積極的に活用されるよう利用や活用の方法について、サポート授業を実施。 「ようこそ！朝霞第一中学校へ」図書室の使い方のプリントを配付した。
読書カードの活用	読書週間(11月)にちなんで、読書の推奨を目的に実施。

(19)朝霞第二中学校

活動名等	取組内容
司書教諭の活用	学校図書館サポートスタッフと連携し、図書の整理や図書館教育の年間計画の作成、図書の貸出、配架等の管理、図書館便りの発行などを行っている。
朝読書の実施	学習習慣の向上と言語環境を充実させるため、日常的に朝の会後に朝読書を行っている。その成果もあり、給食の配膳時間などでも読書している生徒を見かけるようになってきた。
全校読書の実施	各学期に1度、図書委員会タイムという読書週間を設けて、朝読書の時間を少し多くとり、感想などを記録している。また、授業などで図書館の辞書などを使用しやすいように移動式の図書ラックを購入し活用している。
学級文庫の活用	書庫を整理して廃棄予定の書物や寄贈された書物を整理して各学級でも気軽に使えるようにしている。
夏休み・冬休み前の 本の貸出の実施	図書委員会を中心にポスターを作成したりして長期休業前に貸出週間を設けている。また、国語の授業とタイアップして夏休みや冬休み前に読書指導を行っている。 長期休業中前(7月・12月)の貸出数を10冊とし、十分に借りられるように配慮している。
その他の取組	図書委員会を中心にポスター作成や文化的イベントの開催により、読書の啓発活動を行っている。また、全校生徒への図書館に関するアンケート実施や、図書委員会を通して図書館利用を活発にするにはどうしたら良いか話し合っている。

(20)朝霞第三中学校

活動名等	取組内容
司書教諭の活用	図書整理員と連携して、オリエンテーションやアンケート等の実施、図書だよりの発行、選書などを行っている。
朝読書の実施	始業10分間、教師と生徒が持参した本を静かに読んでいる。
全校読書の実施	読書週間の定着、言語活動の充実・落ち着いた学校を目指し毎朝全校で朝読書に取り組んでいる。
学級文庫の活用	図書委員会が学級文庫の設置・管理を行い、朝読書等で活用している。
夏休み・冬休み前の 本の貸出の実施	夏休み、冬休み、春休み前に一人10冊、返却は長期休業後という形で特別貸出を行っている。
スタンプラリー	おすすめの本30冊をセレクトし、スタンプラリー対象本として図書館だよりを通じ生徒に示す。1冊借りるごとにスタンプを1個押す。10個たまると、30冊達成時にささやかなプレゼントあり。
お楽しみ袋	季節ごとに1冊のおすすめ本をセレクトし、中身のわからないよう「お楽しみ袋」に入れて貸出し、読書活動を推進する。

きずなコンサート (きずなTV)	図書委員と吹奏楽部のコラボレーションにより、図書委員による絵本の読み聞かせと図書館サポートスタッフによるブックトークを実施する。合間に場に応じた演奏が入り、本に興味を持たせるよいきっかけとなるようにする。
その他の取組	学校図書館の蔵書について貸出冊数の多い生徒に毎学期、朝礼にて「感謝状」を渡している。

(21)朝霞第四中学校

活動名等	取組内容
司書教諭の活用	①学校図書館を授業や学校行事などで活用できるように、年間計画の活動内容を実施する。 ②学校図書館サポートスタッフとの連携により、授業での学校図書館の活用を推進する。
学校司書の活用	①学校図書館サポートスタッフは、司書教諭と連携して学校図書館の年間計画の活動内容を実施する。 ②学校図書館の図書の購入・整理・貸出業務など日常的な学校図書館活動を行う。
朝読書の実施	月曜日から金曜日までの朝8時35分から8時45分の10分間を「広沢タイム」と称して、朝の読書を推進している。
全校読書の実施	朝の読書を全校で一斉実施として、全校読書に位置づけている。
学級文庫の活用	学級担任が、朝の読書活動が活発になるように自主的に設置している。
夏休み・冬休み前の 本の貸出の実施	長期休業中は、夏と冬に長期貸出を実施している。学校図書館便りなどで全校に告知し、1回につき10冊までの貸出を可能として推進している。
その他の取組	①昼の放送で、在庫した新刊本の紹介を生徒の委員会活動で行っている。 ②中学生に読んで欲しい本30冊を選出し、スタンプラリー形式で景品を用意するなど、読書活動の活性化に向けて展開している。 ③図書館クイズを図書館内に掲示し、学校図書館へ足を運ぶ機会を工夫している。 ④生徒の委員会活動として、500ページ読書活動を推進して、持続的な読書活動を推進している。

(22)朝霞第五中学校

活動名等	取組内容
オリエンテーションの実施	新入生に「図書館の利用」について説明を行う。 4月の国語の授業時間を使って図書室の使い方と読書のすすめを話す。
朝読書の実施	学習習慣の向上と言語環境を充実させるため、月曜から金曜までの朝の学活後の「朝の読書」実施。 実施状況：朝の読書用に家から一人1冊ずつ学校に本を持参し、時間があれば、朝の読書以外の時間でも本を読んでいる。
図書館サポートスタッフ の活用	図書の貸出、配架、修繕等の管理、読書活動の支援及び本の紹介。 図書委員生徒の活動に関する具体的な指示・指導・補助。 実施状況：図書館利用の促進や読書活動の励行を呼びかけるプリントや掲示物を作成して魅力的な図書館経営に取り組んでいる。
図書委員会の活動	図書委員の生徒が図書館の利用促進、読書活動の励行に向けた取組を行っている。 実施状況：定期的な話し合い、貸出当番の分担、図書だよりの発行、新着本紹介、「中学生に読んでほしい本」の選出、キャンペーン等の実施、蔵書点検と蔵書の整理整頓
図書アンケートの取組	職員に対して推薦図書のアンケートを定期的実施、生徒に対してはリクエストカードで購入希望図書を随時受付。
夏休み・冬休み前の 本の貸出の実施	夏休み前・冬休み前に休業中に読む本の貸出を行う。長期休業中、本に親しみきっかけづくりとなることをねらいとする。(夏休み10冊、冬休み 5 冊)
リーディング・マラソン	英語にもたくさんふれてもらおうという意図ではじめた取組。はじめは簡単な英語の本・絵本から入り、ステップ・アップしながら物語が楽しく読めるように英語の本を読み進める。 英語科の先生に「リーディング・マラソン」の教材(本)を利用いただき、夏休みの課題で英語の本を読み、感想を書くという授業への利用事例がある。
五中図書室 読書スタンプラリー	中学生に読んで欲しい図書を選び、生徒が指定の本を読了するとスタンプを押して完走する多読の取組。読んだ冊数により貸出券等が渡される。

(23)朝霞高等学校

活動名等	取組内容
オリエンテーションの実施	新入生に「図書館の利用」について、司書が説明を行う。4月の国語の授業時間を使って図書館の使い方と「新・高校生のための読書案内」を配布し、読書のすすめを話す。 令和2年度:分散登校の6月にクラス半分ずつを対象に行った。
「図書館ニュース」 の発行と展示	図書委員が年10回発行する。各号ごとにテーマを決めて、本の紹介を行い、図書館内に展示も行う。図書館ニュースは全生徒・職員に配布し、ポスター掲示を行う。新刊案内も掲載し、選書の機会を増やす。 令和2年度:コロナ禍の休校により6回発行した。
図書館報の発行	図書委員が年1回発行している。図書委員と教員のおすすめ図書を紹介している。全生徒・職員に配布し、読書のきっかけをつくるようにしている。
リクエストの受付	カウンターに用紙を置いて常時受付している。 図書館に来ない生徒の読みたい本をほりおこすため、年3回全生徒にリクエストの説明と用紙を配付している。 令和2年度:休校により2回のみ配付。
朝霞市立図書館との連携	「こども文化」(2年選択授業)を選択した生徒に3時限を指導していただいた。 ・1限目は、朝霞市立図書館の方に来校していただき、図書館についての説明と絵本の読み聞かせをしていただいた。 ・2限目は、おはなし会の方に子どもたちに行っている実際のおはなし会を生徒たちに実演していただいた。 ・3限目は生徒がつくった紙芝居と手あそび歌の実演を見ていただき指導していただいた。

(24)朝霞西高等学校

活動名等	取組内容
「らいぶらりーニュース」の発行	年8回、図書委員が作成、発行する広報誌。 図書館からのお知らせ、図書委員や先生のすすめる本の紹介、貸出統計など。B4判1枚。生徒全員に配布。
「朝西図書選集」の発行	年1回、教職員と図書委員がすすめる本の紹介文を載せた冊子を発行。巻末には、図書館の使い方など図書館オリエンテーション資料を載せて、新入生全員に配布している。2・3年生にはクラスに1冊掲示。紹介した本のコーナーも設置。
「司書室だより」の発行	年8回、司書が作成。新着図書の紹介、司書がすすめる本、図書館カレンダーなど。B4判1枚。「らいぶらりーニュース」の裏面に印刷。生徒全員に配布。
新入生図書館 オリエンテーション	4月当初、新入生に図書館の利用について司書と係教諭が説明する。「朝西図書選集」を使って1クラスずつ図書館にて25分で実施。 令和2年度4月は休校中のため、分散登校開始の6月に国語の授業で実施。
リクエストの受付	常時、生徒、教職員のリクエストを受付している。 読書意欲をそがないように迅速に対応する。
学校行事に関する図書と 進路資料の展示	修学旅行などの学校行事の関連本や進路関係の図書のコーナーを常設している。
季節・時事問題の本の展示	季節の本や、その時の話題に関する本を展示している。
ビブリオバトルへの参加	「彩の国高校生ビブリオバトル」への参加(令和2年度はコロナ禍のため中止)
絵本の読み聞かせ指導	朝霞市立図書館の方に講師として来校していただき、3年生「子どもの発達と保育」選択者に絵本についてお話していただいた後、読み聞かせを実演していただいた。(2回実施)

第3次朝霞市子ども読書活動推進計画策定に伴うアンケート集計結果

調査概要

1. 目的

「埼玉県学力・学習状況調査」集計データとともに、令和4年度から令和7年度を計画期間等とする第3次朝霞市子ども読書活動推進計画策定の基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。

2. 調査方法

各施設、各学校の協力を得て、保護者、対象児童、生徒に配布・回収しました。

3. 調査期間

令和3年6月10日(木)～6月23日(木)

4. アンケート依頼先・回答状況

区分	配布数	回答数:人	回答率:%	備考
浜崎保育園	80	33	41.3	
さくら子育て支援センター	30	30	100	
朝霞花の木幼稚園	80	58	72.5	
みつばすみれ学園	20	21	105	
ほんちょう児童館	30	23	76.7	
みぞぬま児童館	30	30	100	
就学前児童保護者 計	270	195	72.2	
朝霞第一小学校(4年生)	93	88	94.6	
朝霞第四小学校(5年生)	115	104	90.4	
朝霞第三小学校(6年生)	106	102	96.2	
根岸台放課後児童クラブ	50	25	50.0	
ほんちょう児童館	30	30	100	
みぞぬま児童館	30	30	100	
小学生 計	424	379	89.4	
朝霞第二中学校(2年)	292	273	93.5	
ほんちょう児童館	30	29	96.7	
みぞぬま児童館	30	7	23.3	
中学生 計	352	309	87.8	
朝霞高等学校(2年生)	90	77	85.6	
朝霞西高等学校(2年生)	90	79	87.8	
ほんちょう児童館	30	14	46.7	
みぞぬま児童館	30	2	6.7	
高校生等 計	240	172	71.7	

第3次朝霞市子ども読書活動推進計画策定に伴うアンケート集計結果 対象【就学前児童の保護者】

質問1 あなたのお子さんは何歳ですか。(該当するものをすべて選ぶ)

選択肢	回答:人	割合:%
1 0～2歳	86	37.9
2 3～5歳	127	55.9
3 6歳	14	6.2
計	227	100

第1子のみの人 195人
 第1子、第2子がいる人 31人
 第2子、第3子がいる人 1人

質問2 あなた(家族)はお子さんに本の読み聞かせをしたり、一緒によんだりすることがありますか。(※マンガ、雑誌を除く)(ひとつ選ぶ)

選択肢	回答:人	割合:%
1 ほぼ毎日読んでいる	77	39.7
2 一週間に3回以上読んでいる	39	20.1
3 一週間に1回から2回読んでいる。	47	24.2
4 あまり読んでいない	31	16.0
計	194	100

	今回結果	前回結果(H28)
毎日読んでいる	39.7%	36.2%
週3回	20.1%	25.9%
週1～2回	24.2%	25.9%
あまり読んでいない	16.0%	12.1%

読書習慣のある層と読書習慣のない層の差が増加しました。

質問3 お子さんが読む本はどのように用意していますか。(該当するものを3つまで選ぶ) 回答者195人

選択肢	回答:人	割合:%
1 家にある本を利用	160	82.1
2 購入する	106	54.4
3 保育園や幼稚園で借りる	60	30.8
4 朝霞市立図書館、公民館図書室で借りる	66	33.8
5 知り合いに借りる	1	0.5
6 その他	8	4.1

「家にある本を利用する」が82.1%で最も多く、ついで「購入する」が54.4%となっています。

質問4 家には、お子さんや家族が読む本がどれくらいありますか。(マンガ・雑誌を除く)(ひとつ選ぶ)

選択肢	回答:人	割合:%
1 0～10冊	42	22.3
2 11～25冊	70	37.2
3 26～100冊	69	36.7
4 101～200冊	7	3.7
5 201～300冊	0	0.0
6 その他	0	0.0
計	188	100

「11～25冊」が37.2%で最も多く、ついで「26～100冊」が36.7%が多くなっています。

質問5 あなたのお子さんは、どのような本に興味がありますか。(該当するものをすべて選ぶ) 回答者195人

選択肢	回答:人	割合:%
1 物語や昔話などの読み物	104	53.3
2 動物や乗り物などの絵本	140	71.8
3 アニメやヒーローなどのキャラクターもの	75	38.5
4 紙芝居	15	7.7
5 その他	22	11.3

	今回結果	前回結果(H28)
物語・昔話	53.3%	62.1%
動物・乗り物	71.8%	74.1%
アニメ・キャラクター等	38.5%	32.8%
紙芝居	7.7%	29.3%
その他	11.3%	13.8%

質問6 過去一年間、お子さんのために、朝霞市立図書館、公民館図書室をどの程度利用していますか。(ひとつ選ぶ)

選択肢	回答:人	割合:%
1 月に2回以上利用している	22	11.3
2 月に1回利用している	34	17.5
3 2, 3か月に1回程度利用している	22	11.3
4 あまり利用していない	116	59.8
計	194	100

	今回結果	前回結果(H28)
月2回以上利用	11.3%	13.8%
月1回利用	17.5%	34.5%
2, 3か月に1回程度利用	11.3%	15.5%
あまり利用していない	59.8%	36.2%

一定層の利用はあるものの、利用していない割合が増加しました。

質問7 図書館で開催している読み聞かせやおはなし会に参加したことがありますか。(ひとつ選ぶ)

選択肢	回答:人	割合:%
1 いずれかに参加したことがある	29	17.2
2 どれにも参加したことはない	140	82.8
計	169	100
理由		
①開催されていることを知らなかった	69	41.6
②開催されていることは知っていたが参加していない	97	58.4
	166	100

	今回結果	前回結果(H28)
参加したことがある	17.2%	36.2%
参加したことはない	82.8%	63.8%

「参加したことがある」の割合が減少する一方、「参加したことがない」の割合が増加しました。

「参加したことはない」の理由として、「開催されていることは知っていたが参加していない」が、58.4%となっています。

質問8 読み聞かせやおはなし会等に参加するとしたら、時間帯はいつがよいですか。(ひとつ選ぶ)

選択肢	回答:人	割合:%
1 平日午前	48	25.0
2 平日午後	34	17.7
3 土曜日午前	57	29.7
4 土曜日午後	30	15.6
5 日曜日午前	18	9.4
6 日曜日午後	5	2.6
計	192	100

「土曜日午前」が29.7%で最も多く、ついで「平日午前」が25.0%になっています。

質問9 子供が読書に親しむようになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(ひとつ選ぶ)

選択肢	回答:人	割合:%
1 家庭での読書習慣	156	81.3
2 子どもが所属する保育園、幼稚園等や小中学校での支援	31	16.1
3 図書館での支援	3	1.6
4 その他	2	1.0
計	192	100

「家庭での読書習慣」が81.3%で最も多く、ついで「子どもが所属する保育園、幼稚園等や小中学校での支援」が16.1%になりました。

質問10 朝霞市では、4か月健診時に絵本の読み聞かせ等をおし、絵本をプレゼントする「ブックスタート」を実施しています。

今までブックスタートに参加したことがあはありますか。(転入してきた方は前住所地についてお伺いします。)(ひとつ選ぶ)

「参加したことがある」が70.3%、「参加したことはない」が20.8%になりました。

選択肢	回答:人	割合:%
1 参加したことがある	135	70.3
2 参加したことはない	40	20.8
3 わからない(覚えていない)	17	8.9
計	192	100

質問11 読書に関することで、図書館・公民館・保育園・幼稚園・児童館・放課後児童クラブ・子育て支援センター・小中学校・みつばすみれ学園等に希望することがあれば記入してください。(原文のまま記載しています。)

☐ 図書館いつも利用させていただいております。ありがとうございます。

☐ 児童館の本コーナーできたら復活させてほしいです。

☐ 児童館にたくさん本が置いてあり、助かっています。

☐ 児童館をよく利用するのですが、下の子が小さい為、図書館まで行くのは遠くてハードルが上がります。

児童館で本を借りることが出来たら最高だと思います。児童館ではにぎやかで本を読むふんいきになかなかならない為

☐ 読書時間をもうけるなどのサポートがあると良い。

☐ 通っている幼稚園では、貸出はないので、自分の好きな本を借りられるとよいと思います。

☐ 家では子どもに読み聞かせをしたいと思っていますが、忙しく時間がないときがあります。

図書館や児童館で読み聞かせをして頂けると、子どもの本に触れ合う機会があり、とても嬉しいです。

☐ 新しい本などが予約いっぱいなかなか借りられないので、人気のある絵本は数を増やしてほしいです。

☐ 言葉の遅れから本の読みきかせに興味をもってくれず不安です。そんなお子さんが興味をもった本があったらおすすめしてほしいです。

☐ 歌つき絵本(はらぺこあおむし等)を更に読んで頂きたい(かていでもとりこみやすいので)

☐ 今度、図書館に行きたいなと思います。

☐ 図書館も児童館も家から遠くにあり、気軽に利用できない。もっと数を増やしてほしい。

☐ 昔ながらの絵本が多く、今売っているようなかわいいイラストの絵本や色のきれいな絵本がもっとそろっているとよかった

☐ 現在はコロナもあり、外部の絵本を借りることを避けてしまっていますが、子どもの希望する本の貸し出しをお願い出来ればと思います。

☐ 図書館の方が大きな本や紙芝居を幼稚園に来ていただき、読んでいただけると、普段先生がもらっているのと違う刺激をうけて、

”あの本家で読んで欲しい！”と影響されると思います。数か月でも1度でも園児は楽しみになるし、図書館にも行く機会が増えると思います。

今の時代、待っているだけでは何も変わらないと思います。

- 児童館や子育て支援センターでは、平日午前によみきかせ会など開催してくれていますが、図書館でも平日午前の企画があるとありがたいです。
- 今は特にありません。将来自身で図書館を利用するようになったら希望することがあるかもしれません。その時は宜しくお願いします。
- 返しに行くタイミングがなかなかないのでブックポストを24時間にして数も増やして欲しい
- 放課後クラブでも読み聞かせをしてくれると良い
- 本をよみきかせをし、感想を言い合う場を作してほしい。
- 蔵書を増やしてほしいです。貸出期間を1ヶ月にしてほしいです。
- 保育園では、毎日たくさんの本に接しているようで、子どもも楽しそうに色々な本の話をしてくれます。その環境に感謝していますし、今後も引き続き読書推進活動が行われるとよいなと思います。
- 小学校・中学校の学校図書館サポートスタッフが、4月～9月までで通年を通しての雇用でないため、10月～3月まで学校図書館が十分に利用できないのではないかと危惧しています。ぜひ、1年間の雇用にしてください。今は親が公共図書館や児童館の本をいっしょに利用できていますが、小中学生になり、学校内で本に親しむ環境をつくってもらいたいです。
- 小中学校に正規職員の学校司書を配置し、学校図書館を活用したアクティブラーニングに取り組んでほしい
- たくさん本を置いてほしい テーマ別など子供が好きなものが分かりやすく並んでいるとよい
- 図書館にうるさくしていい幼児室があったらいい
- 仕事をしていたり育児をしていると、なかなか図書館でゆっくり本を選ぶこともままなりません。ネットで在庫確認はしているのですが、借りやすいシステムがあれば(例えば有料配送)ありがたいと日頃感じています。
- 本を読むことは大事だと考えておりますが、2人に兄弟がいると上の子につい合わせてしまい下の子が喜ぶ本を読めていないのが現実です。何かの折に本を読む機会を作っていただけると幸いです。
- 家ではなかなか購入しない大型のものや仕かけ絵本をやってくれるとうれしいです
- 書店にあるような「特集コーナー」のような場所で本の紹介があると興味のある本を探す助けになると思います。(すでにやっているかもしれませんが)
- 読み聞かせ 本屋・図書館へ定期的に行く
- 読みきかせイベントなど土日にも行ってほしいと思います。
- 図書館で、利用者が多い本など壊れていることもしばしばあるので本のケアも行ってほしいです。
- 子どもに英語の絵本を読んであげているが、ぜひ朝霞図書館にももっと蔵書を増やしてほしい。英国のOxford Reading Treeというフロッピーの話が子どもは大好きで、シリーズ全体で冊数も多く高価でぜひ図書館にCD付きのものを収集してほしい。今は戸田図書館や豊島図書館まで足をはこび登録をして借りている。一冊づつは薄く場所をとらないのでぜひぜひ上記図書館以上のシリーズを朝霞図書館においてもらいたい。その他、米国Creative teaching Press(CTB)社のLearn to Readという英語絵本もCD付のものを蔵書にほしい。小学生の英語必修化もはじまり、東京オリンピックに向け朝霞市も子供の英語教育に力をいれてほしい。長期的に蔵書を増やしてもらいたい。
- 週末に本のかしだしがあるとよい

○図書館(北朝霞分館)の赤ちゃん向けの絵本を増やしてほしい

○おすすめ絵本のかしだしなど

○西朝霞公民館の分館は、子ども用の本がたくさんあるので助かっています。保護者の方とはなしていると、ブックスタートで頂いた「まるてん いろてん」への興味がどの子も(うちの子も含む)高いようです。同じような本がふえるとうれしいです。

○子供が落ち付かず動きたがる時期なので、図書館を利用しにくい。子供向けの本を選ぶ余裕がないので " 月齢のおすすめを入口で3~5冊くらい貸してもらえるサービスなどがあると楽" ありがたいです。

○図書館で月齢にあった絵本を紹介してほしい

○読みきかせや紙しばいなどのイベントをしてけると嬉しいです。

○今の取組みで十分

○読書が如何大切か? 成長にどのような影響がある等良い点をたくさんピーアルして欲しい。

○おすすめの本を知りたいです。図書館ではPOPをみて借りることが多いので、WEB上でも見れると良いと思います。

英語の本の種類を増やして欲しいです。

○子供が興味を持つような読み方を教えてほしい。

○キャラものの新しい本が増えと嬉しいです。本の興味があるというよりキャラに興味があるので。また年齢別のおすすめ本をたくさんしてくれると助かります。中身を見てじっくりと選ぶ時間がないのでぱっとみてわかるとさらにうれしいです。

○図書館にない本が多いと感じる。増書して欲しい。インターネットなどで話題の本を借りようと思ってもないことが多い。

○様々な本を読めるようにしてほしい

○小さいうちはみんなで読む本を借りるのが難しく、図書館の利用に至りませんでした。(汚したり、よだれをつけたり、破ってしまうおそれがあるため)自分で触りたいが叶わないとイヤーとなってしまうたり…。その頃はおはなしのボランティアさんが図書館で読みきかせや手遊びをしてくれるのがとてもうれしかったです。当時は新座在住で、新座のほっとぷらざへはよく足を運びました。

○子供たちが本を選ぶ⇒借りて図書館を出るまで静かにすることもおとなしくしていることもできないので、オンラインで借りて受取りに行けたり、配送サービスがあればとても利用しやすくなると思います。

※注:①無記入・無回答の場合は集計していません。

※注:②複数回答に対する割合は、回答対象者人数により算出しています。

※注:③前回結果(H28)と今回調査では、質問、選択肢に差異があります。今回調査と対比ができるよう前回調査結果を掲載しています。

このため、一部の選択肢割合を計上していないため、合計値が100%にならない場合があります。

第3次朝霞市子ども読書活動推進計画策定に伴うアンケート集計結果 対象【小学生】

質問1 あなたは何年生ですか。(ひとつ選択)

選択肢	回答:人	割合:%
小学1年生	12	3.2
小学2年生	19	5.0
小学3年生	8	2.1
小学4年生	106	28.0
小学5年生	123	32.5
小学6年生	111	29.3
計	379	100

内訳	小1	小2	小3	小4	小5	小6
朝霞第一小学校				88		
朝霞第四小学校					104	
朝霞第三小学校						102
ほんちょう児童館	1	5	—	11	9	4
みぞぬま児童館	—	9	4	3	9	5
根岸台放課後児童クラブ	11	5	4	4	1	—
計	12	19	8	106	123	111

質問2 あなたは本を読むことが好きですか。嫌いですか。(理由選択後ひとつ選択)

【総計結果】

選択肢	回答:人	割合:%
1 好き	265	70.9
2 嫌い	67	17.9
3 好きでも嫌いでもない	42	11.2
計	374	100

	今回結果	前回結果(H28)
好き	70.9%	75.0%
嫌い	17.9%	9.2%
好きでも嫌いでもない	11.2%	13.1%

「好き」が70.9%で最も多く、ついで「嫌い」が17.9%になっています。前回結果より、「嫌い」が増加しています。

【好きな人】

選択肢	回答:人	割合:%
1 おもしろいから	148	55.8
2 いろいろなことがわかり勉強になるから	96	36.2
3 ほかの理由	21	7.9
計	265	100

「おもしろいから」が55.8%で最も多く、ついで「いろいろなことがわかり勉強になるから」が36.2%になっています。

【嫌いな人】

選択肢	回答:人	割合:%
1 楽しくないから	12	17.9
2 テレビ、パソコン、スマートフォンの方がおもしろいから	28	41.8
3 読むのがたいへんだから	20	29.9
4 ほかの理由	7	10.4
計	67	100

「テレビ」、パソコン、スマートフォンの方がおもしろいから」が41.8%、ついで「読むのがたいへんだから」が29.9%となっています。

【好きでも嫌いでもない人】

選択肢	回答:人	割合:%
1 どうでもいいことだから	8	19.0
2 インターネットを使うことが多く、本を使うことがあまりないから	22	52.4
3 ほかの理由	12	28.6
計	42	100

「インターネットを使うことが多く、本を使うことがあまりないから」が52.4%となり、半数を占めています。

質問3 あなたは小さい頃、家の人や保育園・幼稚園の先生から、本を読んでもらったことがありますか。(ひとつ選択)

選択肢	回答:人	割合:%
1 よくあった	221	58.5
2 ときどきあった	107	28.3
3 あまりなかった	11	2.9
4 なかった	6	1.6
5 おぼえていない	33	8.7
計	378	100

	今回結果	前回結果(H28)
よくあった	58.5%	59.1%
ときどきあった	28.3%	22.9%
あまりなかった	2.9%	5.1%
なかった	1.6%	3.4%
おぼえていない	8.7%	9.0%

前回と同様の傾向が見受けられます。

質問4 あなたは、家の人や友だち、先生と本や本の内容のことで話をしたことがありますか。(ひとつ選択)

選択肢	回答:人	割合:%
1 よくある	66	17.6
2 ときどきある	135	36.1
3 あまりない	101	27.0
4 ない	72	19.3
計	374	100

	今回結果	前回結果(H28)
よくある	17.6%	18.8%
ときどきある	36.1%	37.8%
あまりない	27.0%	28.6%
ない	19.3%	14.3%
「ない」の割合が前回より増加しました。		

質問5 あなたは本が読みたいとき、どうしますか。(3つ選択) 回答者379人

選択肢	回答:人	割合:%
1 家にある本を読む	249	65.7
2 買う、買ってもらう	176	46.4
3 図書館で借りる	112	29.6
4 公民館の図書室で借りる	36	9.5
5 学校の図書館で借りる	158	41.7
6 友だちなどに借りる	36	9.5
7 放課後児童クラブや児童館で読む	14	3.7
8 その他	11	2.9

	今回結果	前回結果(H28)
家にある本を読む	65.7%	23.5%
買う、買ってもらう	46.4%	39.7%
図書館で借りる	29.6%	9.9%
公民館図書室で借りる	9.5%	1.5%
学校図書館で借りる	41.7%	21.7%
友だち等に借りる	9.5%	1.2%
放課後児童クラブや児童館で読む	3.7%	1.2%
その他	2.9%	0.5%
「家にある本を読む」、「図書館で借りる」、「学校の図書館で借りる」等の割合が増加しました。		

質問6 図書館(本館・北朝霞分館)にある読書通帳をつかっていますか。(ひとつ選択)

選択肢	回答:人	割合:%
1 使っている	45	13.2
2 使っていない	74	21.6
3 読書通帳があることを知らない	223	65.2
計	342	100

「読書通帳があることを知らない」が65.2%、「使っていない」が21.6%になり、「使っている」の割合は13.2%でした

質問7 あなたは本を読むとき、スマートフォンやタブレットを使っていますか(理由を選んでひとつ選択)

【総計結果】

選択肢	回答:人	割合:%
1 使う	99	26.9
2 使わない	269	73.1
計	368	100

「使わない」が73.1%で最も多く、ついで「使う」が26.9%になっています。

【使う】

選択肢	回答:人	割合:%
1 本物の本より読みやすいから	32	32.3
2 本屋さんや図書館に行かなくても本が読めるから	39	39.4
3 書店では手に入らない本も読むことができるから	22	22.2
4 ほかの理由	6	6.1
計	99	100

「本屋さんや図書館に行かなくても本が読めるから」が39.4%で最も多く、ついで「本物の本より読みやすいから」が32.3%になりました。

【使わない】

選択肢	回答:人	割合:%
1 本物の本の方が読みやすいから	121	45.0
2 本を読むのは嫌いだから	24	8.9
3 スマートフォンやタブレットで本を読んだことがないから	96	35.7
4 ほかの理由	28	10.4
計	269	100

「本物の本の方が読みやすいから」が45.0%で最も多かった一方、「スマートフォンやタブレットで本を読んだことがないから」が35.7%となっていました。

質問8 読書に親しむようになるには、どのようなことが必要だと思いますか(ひとつ選択)

選択肢	回答:人	割合:%
1 図書館や公民館図書室、学校の図書館や児童館で読みたい本をたくさん用意すればよい	97	26.2
2 学校の「読書の時間」を多くすればよい	152	41.1
3 読みたくなるような本を誰かが教えてくれればよい	98	26.5

『学校の「読書の時間」を多くすればよい』が41.1%で最も多く、図書館等が読みたい本を用意することや読みたい本への紹介は、ほぼ同じ割合でした。

紹介者

選択肢	回答:人	割合:%
先生	5	6.4
図書館の人	17	21.8
家族や友だち	56	71.8
計	78	100

本の紹介は、「家族や友だち」が71.8%で最も多く、ついで「図書館の人」が21.8%でした。

4その他	23	6.2
計	370	100

その他記載欄(原文のまま記載)

- ☐読む時間を(家の)多くする
- ☐おもしろい第名にする
- ☐おもしろいほんがあったらです
- ☐自分でみつける
- ☐いっぱい読めばいいと思う
- ☐わかんない
- ☐家でゲームの時間をへらしてよむ
- ☐学校にマンガ本がある
- ☐学校におもしろそうな本をたくさん用意すればいい
- ☐いろいろな種類をそろえる
- ☐ぶあつい本を学校でかりれるようにしてほしい
- ☐図書館や図書しつに行ってみる

- 学校の時間で毎日本をよむじかんをつくった方がよいと思う
- もっと小説を出せばいい
- 好きな本を買う
- おすすめコーナーをつくる
- ない
- マンガをだしてほしい
- まず本を読まない
- 本の意味を教える
- よみたくない

※注：①無記入・無回答の場合は集計していません。

※注：②複数回答に対する割合は、回答対象者人数により算出しています。

※注：③前回結果(H28)と今回調査では、質問、選択肢に差異があります。今回調査と対比ができるよう前回調査結果を掲載しています。

このため、一部の選択肢割合を計上していないため、合計値が100%にならない場合があります。

第3次朝霞市子ども読書活動推進計画策定に伴うアンケート集計結果 対象【中学生】

質問1 あなたは何年生ですか。(ひとつ選択)

選択肢	回答:人	割合:%
中学1年生	19	6.2
中学2年生	277	89.9
中学3年生	12	3.9
計	308	100

質問2 あなたは本を読むことが好きですか。嫌いですか。(ひとつ選択)

【総計結果】

選択肢	回答:人	割合:%
1 好き	184	61.3
2 嫌い	42	14.0
3 好きでも嫌いでもない	74	24.7
計	300	100

【好き】

選択肢	回答:人	割合:%
1 おもしろいから	142	77.2
2 いろいろなことがわかり勉強になるから	33	17.9
3 その他	9	4.9
計	184	100

内訳

朝霞第二中学校 2年生 273人
 ほんちょう児童館 28人(中1:14人 中2:2人 中3:12人、
 みぞめ児童館 7人(中1:5人 中2:2人 中3:-)
 ※学年を回答していない対象者は、集計していません。

	今回結果	前回結果(H28)
好き	61.3%	62.3%
嫌い	14.0%	13.6%
好きでも嫌いでもない	24.7%	23.7%

「好き」が61.3%で最も多く、ついで「嫌い」が14.0%になっています。 前回結果と、同様の傾向になっています。

	今回結果	前回結果(H28)
おもしろいから	77.2%	87.8%
勉強になる	17.9%	8.8%
その他	4.9%	3.4%

「おもしろいから」が77.2%で最も多く、ついで「いろいろなことがわかり勉強になるから」が17.9%になりました。

【嫌い】

選択肢	回答:人	割合:%
1 楽しいと思わないから	12	28.6
2 テレビ、パソコン、スマートフォンの方がおもしろいから	13	31.0
3 読むのがめんどうだから	12	28.6
4 その他	5	11.9
計	42	100

	今回結果	前回結果(H28)
楽しいと思わないから	28.6%	34.4%
パソコン等がおもしろい	31.0%	34.4%
読むのがめんどう	28.6%	25.0%
その他	11.9%	6.3%

「テレビ、パソコン、スマートフォンの方がおもしろいから」が31.0%で最も多く、「楽しいと思わない」、「読むのがめんどう」がそれぞれ28.6%になりました。

【好きでも嫌いでもない】

選択肢	回答:人	割合:%
1 興味がないから	35	47.3
2 主にインターネットを使っていて、本を使うことがあまりないから	27	36.5
3 その他	12	16.2
計	74	100

	今回結果	前回結果(H28)
興味がない	47.3%	28.6%
主にネット利用	36.5%	14.3%
なんとなく	—	57.1%
その他	16.2%	—

「興味がない」が47.3%、「主にインターネットを利用」が36.5%となっています。

質問3 あなたは本を読むとき、どうしますか。(3つまで選択可) 回答者309人

選択肢	回答:人	割合:%
1 家にある本を読む	219	70.9
2 買う、買ってもらう	234	75.7
3 図書館で借りる	56	18.1
4 公民館図書室で借りる	9	2.9
5 学校図書館で借りる	65	21.0
6 友だちなどに借りる	62	20.1
7 その他	15	4.9

	今回結果	前回結果(H28)
家にある本を読む	70.9%	33.9%
買う、買ってもらう	75.7%	86.9%
図書館で借りる	18.1%	7.2%
公民館図書室で借りる	2.9%	1.3%
学校図書館で借りる	21.0%	17.8%
友だち等に借りる	20.1%	14.4%
その他	4.9%	2.5%

「買う、買ってもらう」の割合が減少する一方、「家にある本を読む」の割合が大きく増加しました。

質問4 図書館(本館・北朝霞分館)にある読書通帳をつかっていますか。(ひとつ選択)

選択肢	回答:人	割合:%
1 利用している	20	6.6
2 利用していない	115	38.2
3 読書通帳があることを知らない	166	55.1
計	301	100

「読書通帳があることを知らない」が55.1%、「利用していない」が38.2%になり、「使っている」の割合は6.6%でした。

質問5 あなたは読書にスマートフォンやタブレットを利用していますか。(理由を選んでひとつ選択)

【総計結果】

選択肢	回答:人	割合:%
1 利用している	102	34.1
2 利用していない	197	65.9
計	299	100

	今回結果	前回結果(H28)
利用している	34.1%	18.6%
利用していない	65.9%	80.1%

「利用していない」が65.9%で最も多く、ついで「利用している」が34.1%になっており、「利用している」割合が増加しました。

【利用している】

選択肢	回答:人	割合:%
1 本物の本より読みやすいから	22	21.6
2 本屋さんや図書館に行かずに本が手に入るので便利だから	43	42.2
3 本屋さんやない本も読むことができるから	32	31.4
4 その他	5	4.9
計	102	100

「本屋さんや図書館に行かずに本が手に入るので便利だから」が42.2%で最も多く、ついで「本屋さんやない本も読むことができるから」が31.4%になりました。

【利用していない】

選択肢	回答:人	割合:%
1 本物の本の方が読みやすいから	93	47.2
2 電子書籍のことをよく知らないから	47	23.9
3 読書が嫌いだから	25	12.7
4 その他	32	16.2
計	197	100

「本物の本の方が読みやすいから」が47.2%が最も多く、
ついで「電子書籍のことをよく知らないから」が23.9%になっています。

質問6 あなたがもっと本を読みたくするには、どのようなことが必要だと思いますか(ひとつ選択)

選択肢	回答:人	割合:%
1 図書館が読みたくするような本をたくさん用意すればよい	120	40.0
2 学校の「読書の時間」を多くすればよい	91	30.3
3 読みたくするような本を誰かが紹介してくれればよい	75	25.0

「図書館が読みたくするような本をたくさん用意すればよい」が40.0%で最も多く、ついで『学校の「読書の時間」を多くすればよい』が30.3%になりました。
紹介者では「家族や友だち」が63.5%で最も多く、ついで「図書館の人」が27.0%になりました。

紹介者

	回答:人	割合:%
先生	7	9.5
図書館の人	20	27.0
家族や友人	47	63.5
計	74	100

4 その他	14	4.7
計	300	100

その他記載欄(原文のまま記載)

- 本を用意するな
- 家で自分のよみたい本をすきなだけかって、のんびりしたかんきょうで、本をずっとよみたい
- おもしろい本をつくること
- 学生が求める本を用意すること
- 友達に紹介してもらう
- 自分の家の近くに図書館ができること
- 自分で本を探せばいい
- 自分の好きなやつがなかにある本を用意してくれたら本が好きになるのかもしれない
- スマホが熱くなるのがいやだから
- 読書が何よりも面白くなればいい。
- 教室に様々な本をたくさんおく
- 本からどんなことが得られるか考えてみる
- 自分のせいかくでは、ておくれだと思う
- 少し長いとおもったらぜったいによまない

※注:①無記入・無回答の場合は集計していません。

※注:②複数回答に対する割合は、回答対象者人数により算出しています。

※注:③前回結果(H28)と今回調査では、質問、選択肢に差異があります。今回調査と対比ができるよう前回調査結果を掲載しています。

このため、一部の選択肢割合を計上していないため、合計値が100%にならない場合があります。

第3次朝霞市子ども読書活動推進計画策定に伴うアンケート集計結果 対象【高校生】

質問1 あなたは何年生ですか。(ひとつ選択)

選択肢	回答:人	割合:%
高校1年生	3	1.7
高校2年生	160	93.0
高校3年生	9	5.2
計	172	100

内訳

朝霞高等学校 2年生 77人
 朝霞西高等学校 2年生 79人
 ほんちょう児童館 14人(高1:2人 高2:4人 高3:8人)
 みぞぬま児童館 2人(高1:1人 高2:— 高3:1人)

質問2 あなたは朝霞市内にお住まいですか。(ひとつ選択)

選択肢	回答:人	割合:%
1 市内	31	18.1
2 市外	140	81.9
計	171	100

「市外」が81.9%、「市内」は18.1%になりました。

質問3 あなたは本を読むことが好きですか。(理由選択後ひとつ選択)

【総計結果】

選択肢	回答:人	割合:%
1 好き	88	51.5
2 嫌い	34	19.9
3 好きでも嫌いでもない	49	28.7
計	171	100

	今回結果	前回結果(H28)
好き	51.5%	24.5%
嫌い	19.9%	75.2%
好きでも嫌いでもない	28.7%	0.0%

「好き」が51.5%で最も多く、ついで「好きでも嫌いでもない」が28.7%になっています。前回に比べ、「嫌い」が大幅に減少しました。

【好き】

選択肢	回答:人	割合:%
1 おもしろいから	75	85.2
2 いろいろなことがわかり勉強になるから	11	12.5
3 その他	2	2.3
計	88	100

	今回結果	前回結果(H28)
おもしろいから	85.2%	88.5%
勉強になる	12.5%	10.2%
その他	2.3%	1.3%

「おもしろいから」が85.2%で最も多く、ついで「いろいろなことがわかり勉強になるから」が12.5%になりました。

【嫌い】

選択肢	回答:人	割合:%
1 楽しいと思わないから	10	29.4
2 テレビ、パソコン、スマートフォンの方がおもしろいから	11	32.4
3 字を読むのがめんどうだから	13	38.2
4 その他	0	0.0
計	34	100

	今回結果	前回結果(H28)
楽しいと思わないから	29.4%	24.1%
PC等がおもしろいから	32.4%	43.1%
字を読むのがめんどう	38.2%	27.6%
その他	0.0%	5.2%

「字を読むのがめんどうだから」が38.2%、ついで「PC等の方がおもしろいから」が32.4%になりました。

【好きでも嫌いでもない】

選択肢	回答:人	割合:%
1 興味がないから	23	46.9
2 主にインターネットを使っていて本をつかうことがあまりないから	22	44.9
3 その他	4	8.2
計	49	100

	今回結果	前回結果(H28)
興味がない	46.9%	25.5%
主にネット利用	44.9%	15.7%
なんとなく	—	58.8%
その他	8.2%	—

「興味がないから」が46.9%、ついで「主としてネット利用」が44.9%になっています。

質問4 あなたは本を読むとき、どうしますか。(3つまで選択可) 回答者数172人

選択肢	回答:人	割合:%
1 家にある本を読む	81	47.1
2 買う、買ってもらう	136	79.1
3 図書館で借りる	30	17.4
4 友人などに借りる	29	16.9
5 その他	7	4.1

	今回結果	前回結果(H28)
家にある本を読む	47.1%	20.4%
買う、買ってもらう	79.1%	82.1%
図書館で借りる	17.4%	17.3%
友人などに借りる	16.9%	20.7%
その他	4.1%	0.3%

「家にある本を読む」の割合が大きく増加する一方、他の項目については増減はあるものの、大きな変動はありませんでした。

質問5 図書館(本館・北朝霞分館)にある読書通帳を利用していますか。(ひとつ選択)

選択肢	回答:人	割合:%
1 利用している	4	2.3
2 利用していない	97	56.7
3 読書通帳があることを知らない	70	40.9
計	171	100

「利用していない」が56.7%、「読書通帳があることを知らない」が40.9%になり、「利用している」の割合は2.3%でした。

質問6 1ヶ月以内(アンケート実施日の前日)に何冊くらいの本を読みますか(ひとつ選択)

選択肢	回答:人	割合:%
1 0冊	85	50.0
2 1~2冊	59	34.7
3 3~4冊	17	10.0
4 5~10冊	5	2.9
5 11冊以上	4	2.4
計	170	100

	今回結果	前回結果(H28)
0冊	50.0%	0冊 23.8%
1 ~ 2冊	34.7%	1~5冊 66.5%
3 ~ 4冊	10.0%	6~10冊 6.0%
5 ~ 10冊	2.9%	11~15冊 0.3%
11冊以上	2.4%	16冊以上 2.2%

前回と比較して、「0冊」の割合が増加している状況となりました。

質問7 家には、自分や家族が読む本がどれくらいありますか。(ひとつ選択)

選択肢	回答:人	割合:%
1 0～10冊	41	24.0
2 11～25冊	41	24.0
3 26～100冊	52	30.4
4 101～200冊	21	12.3
5 201～300冊	11	6.4
6 301冊以上	5	2.9
計	171	100

「26～100冊」が30.4%で最も多く、「0～10冊」、「11～25冊」がそれぞれ24.0%となっています。

質問8 あなたは電子図書を利用していますか。(理由を選んでひとつ選択)

【総計結果】

選択肢	回答:人	割合:%
1 利用している	52	31.1
2 利用していない	115	68.9
計	167	100

	今回結果	前回結果(H28)
利用している	31.1%	17.9%
利用していない	68.9%	80.9%

「利用していない」が68.9%、「利用している」が31.1%で、前回に比べ、「利用している」割合が増加しています。

【利用している】

選択肢	回答:人	割合:%
1 本物の本より読みやすいから	17	32.7
2 書店や図書館に行かずに本が手に入るので便利だから	22	42.3
3 書店では手に入らない本も読むことができるから	12	23.1
4 その他	1	1.9
計	52	100

「書店や図書館に行かずに本が手に入るので便利だから」が42.3%で最も多く、ついで「本物の本より読みやすいから」が32.7%となっています。

【利用していない】

選択肢	回答:人	割合:%
1 本物の本の方が読みやすいから	39	33.9
2 電子図書に興味や関心がないから	52	45.2
3 読書が嫌いだから	17	14.8
4 その他	7	6.1
計	115	100

「電子図書に興味や関心がないから」が45.2%で最も多く、
ついで「本物の本の方が読みやすいから」が33.9%となっています。

質問9 読書に親しむようになるには、どのようなことが必要だと思いますか。(ひとつ選択)

選択肢	回答:人	割合:%
1 図書館が読みたくするような本をたくさん用意すればよい	52	30.4
2 学校の「読書の時間」を多くすればよい	78	45.6
3 読みたくするような本を誰かが紹介してくれればよい	34	19.9

『学校の「読書の時間」を多くすればよい』が45.6%で最も多く、ついで「図書館が読みたくするような本をたくさん用意すればよい」が30.4%になりました。
紹介者では「家族や友だち」が70.0%で最も多く、ついで「先生」が16.7%になりました。

紹介者

選択肢	回答:人	割合:%
先生	5	16.7
図書館の人	4	13.3
家族や友人	21	70.0
計	30	100

4 その他	7	4.1
計	171	100

その他記載欄(原文のまま記載)

- 有名どころをそろえる
- マンガを入れる
- いろいろなジャンルを試し読みして、好きなものを自分で見つける。
- 自分で興味のある本を見つける
- もっと自分が本に興味をもつ
- 読書をより身近に感じることが必要

※注:①無記入・無回答の場合は集計していません。

※注:②複数回答に対する割合は、回答対象者人数により算出しています。

※注:③前回結果(H28)と今回調査では、質問、選択肢に差異があります。今回調査と対比ができるよう前回調査結果を掲載しています。

このため、一部の選択肢割合を計上していないため、合計値が100%にならない場合があります。

令和3年度

第1回市政モニターアンケート結果

朝霞市 市政情報課

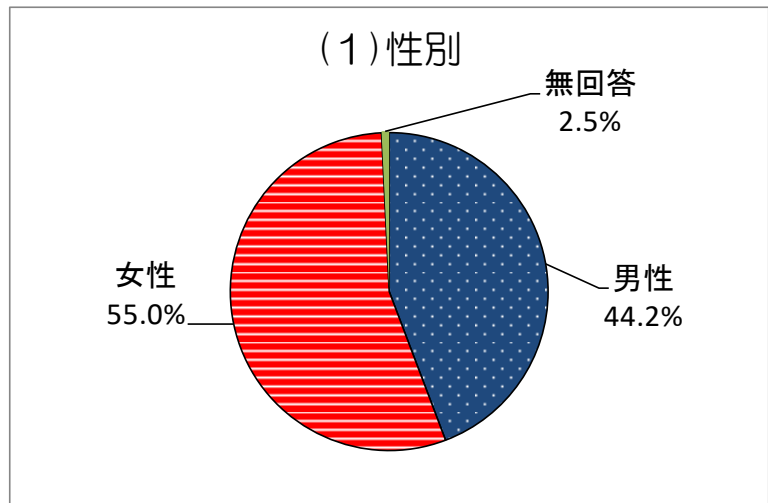
朝霞市立図書館では、子どもの読書活動を推進しています。
この度、第3次朝霞市子ども読書活動推進計画を策定するに当たり、子どもの読書状況等を把握し、また、ご意見をいただくことで、計画策定の資料とさせていただきたいと考えています。アンケートにご協力をお願いします。

テーマ 子どもの読書活動の推進について

- ・実施期間 令和3年6月4日（金）から令和3年6月21日（月）まで
- ・調査対象者 朝霞市市政モニター 331 名
- ・回答者数 260 名 回答者率 78.5 %
- ・回答者の属性

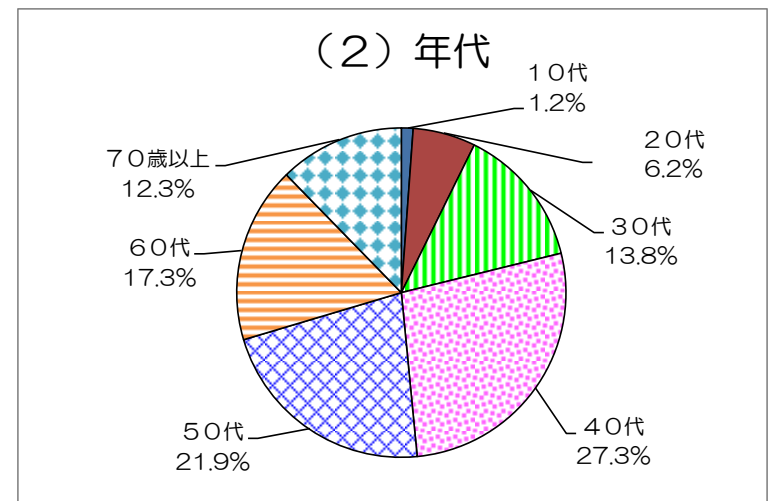
(1) 性別

性別	人数	構成比 (%)
男性	115	44.2
女性	143	55.0
無回答	2	0.8



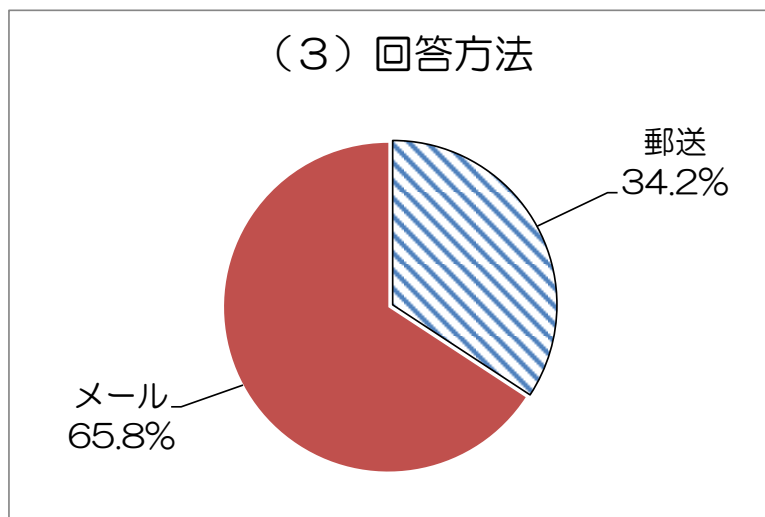
(2) 年代

年代	人数	構成比 (%)
10代	3	1.2
20代	16	6.2
30代	36	13.8
40代	71	27.3
50代	57	21.9
60代	45	17.3
70歳以上	32	12.3
合計	260	100%



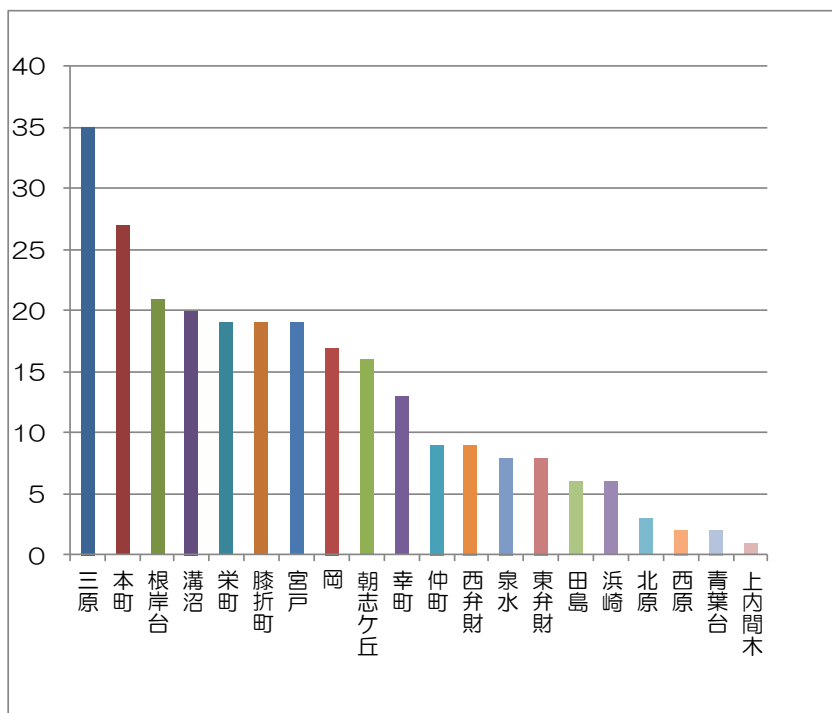
(3) 回答方法

回答方法	人数	構成比(%)
郵送	89	34.2
メール	171	65.8



(4) 地域

地域	人数	構成比%
三原	35	13.5
本町	27	10.4
根岸台	21	8.1
溝沼	20	7.7
栄町	19	7.3
膝折町	19	7.3
宮戸	19	7.3
岡	17	6.5
朝志ヶ丘	16	6.2
幸町	13	5.0
仲町	9	3.5
西弁財	9	3.5
泉水	8	3.1
東弁財	8	3.1
田島	6	2.3
浜崎	6	2.3
北原	3	1.2
西原	2	0.8
青葉台	2	0.8
上内間木	1	0.4
合計	260	100%



※ 構成比率は、回答者数を基数として百分率(%)で表示しています。百分率は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。また、複数回答の場合は、構成比率の合計が100%を超える場合があります。

※ 自由記述の表現はできる限り原文のまま記載していますが、一部表現を修正しているところがあります。

問1 あなたは読書が好きですか。

回答者数	260		
		回答内容	回答件数 構成比 (%)
		1. 好き	111 42.7
		2. どちらかといえば好き	68 26.2
		3. どちらとも言えない	49 18.8
		4. どちらかといえば嫌い	29 11.2
		5. 嫌い	3 1.2

問2 あなたの家には、本がどれくらいありますか（マンガ・雑誌を除く）。

回答者数	260		
		回答内容	回答件数 構成比 (%)
		1. 1冊もない	5 1.9
		2. 1冊～10冊	25 9.6
		3. 11～25冊	43 16.5
		4. 26～50冊	60 23.1
		5. 51～100冊	51 19.6
		6. 101冊以上	76 29.2

問3 あなたは直近の1か月間に何冊の本を読みましたか（マンガ・雑誌を除く）。

回答者数	260		
		回答内容	回答件数 構成比 (%)
		1. 1冊も読んでいない	85 32.7
		2. 1～2冊	111 42.7
		3. 3～5冊	44 16.9
		4. 6～10冊	11 4.2
		5. 11冊以上	9 3.5

問4 問3で「1. 1冊も読んでいない」と回答した方にお聞きします。1冊も読んでいない理由

回答者数	85		
		回答内容	回答件数 構成比 (%)
		1. 読みたかったが読めなかった	38 44.7
		2. 読みたいと思わなかった	42 49.4
		3. その他	5 5.9

【その他のご意見】

- 老眼なので、細かい字を長時間読むのが辛くなったため。（50代 女性）
- 調べたいものや知りたいことはネットで検索している。（40代 男性）
- 目が悪く、読書はしません。（70歳以上 男性）
- 歴史物の漫画を愛読中のため。（60代 男性）
- 子育てが忙しくて読む時間がない。（30代 女性）

問5 問4で「1. 読みたかったが読めなかった」と回答した方にお聞きします。読みたかったが読めなかった理由は何ですか。最も当てはまる選択肢一つに○をつけてください。

回答者数	38		
回答内容		回答件数	構成比 (%)
1. 読みたい本が無かったから		4	10.5
2. 何を読んだらよいかわからなかったから		0	0.0
3. 部活動や塾、習い事等（大人は仕事、家事等）で時間がなかったから		28	73.7
4. 図書館の利用環境（場所、時間等）が合わないから		1	2.6
5. 経済的な理由で本が購入できなかったから		0	0.0
6. その他		5	13.2

【その他のご意見】

- 入院中なので読めなかった。（30代 女性）
- 体調不良で読む元気がなかったため。（40代 女性）
- 激務で忙しかったので、全く読めてないです。（40代 男性）
- 仕事と1歳育児ワンオペで、とても読書の時間がとれない。（40代 女性）
- 仕事に関する資格取得のための学習をしていた。（50代 女性）

問6 問4で「2. 読みたいと思わなかった」と回答した方にお聞きします。読みたいと思わなかった理由は何ですか。最も当てはまる選択肢一つに○をつけてください。

回答者数	42		
回答内容		回答件数	構成比 (%)
1. 読書は面白くないから		3	7.1
2. 読書する必要がないと思ったから		5	11.9
3. テレビやゲームの方が楽しいから		11	26.2
4. 漫画・雑誌の方が面白いから		3	7.1
5. スポーツや趣味の方が楽しいから		7	16.7
6. その他		11	26.2
無回答		2	4.8

【その他のご意見】

- 時間がなかったため。（10代 男性、40代 女性、30代 女性）
- 読書の時間が取れなかったため。（40代 男性）
- 文字より写真や絵の方が好き。図鑑はよく見た。（70歳以上 男性）
- 最後まで読みきれないから。（50代 女性）
- 新型コロナウイルス感染症のことで頭がいっぱいで、ネットで確認しているため。（60代 女性）
- スマートフォンで色々読めます。（20代 女性）
- 読書をする余裕がない。（50代 女性）
- 体調不良で読めなかった。（50代 男性）
- その他の理由で。（50代 女性）

問7 あなたのお子さんについて、教えてください。（複数回答可）

回答者数	260		
回答内容		回答件数	構成比（％）
1. 子どもはいない		80	30.8
2. 就学前児童		44	16.9
3. 小学生		43	16.5
4. 中学生		12	4.6
5. 高校生（高校生相当年齢）		18	6.9
6. 18歳以上（大学生、専門学校生、社会人等）		101	38.8
無回答		2	0.8

※無回答の方の内、1名はお子様がおられます。

※問8～問14は、お子さんがいる方・子育て経験のある方の回答となります。

問8 あなたのお子さんは読書が好きですか。

回答者数	179		
回答内容		回答件数	構成比（％）
1. 好き		53	29.6
2. どちらかといえば好き		54	30.2
3. どちらとも言えない		49	27.4
4. どちらかといえば嫌い		17	9.5
5. 嫌い		5	2.8
無回答		1	0.6

問9 お子さんのために、朝霞市立図書館※、公民館図書室をどの程度利用しています（していました）か。※図書館本館、北朝霞分館をいいます。

回答者数	179		
回答内容		回答件数	構成比（％）
1. 月に2回以上利用している（していた）		37	20.7
2. 月に1回程度利用している（していた）		33	18.4
3. 2、3か月に1回程度利用している（していた）		19	10.6
4. 年に数回程度利用している（していた）		49	27.4
5. 利用していない（いなかった）		40	22.3
無回答		1	0.6

問10 お子さん向けの本の情報は、主にどこから入手しています（いました）か。

回答者数	179		
回答内容		回答件数	構成比（％）
1. 図書館		41	22.9
2. 書店		53	29.6
3. 保育園、幼稚園、学校等		21	11.7
4. 新聞、雑誌等		11	6.1
5. インターネット		44	24.6
6. その他		8	4.5
無回答		1	0.6

【その他のご意見】

- まだ1歳6か月で、絵本を図書館で借りたり、書店で購入しているだけなので、情報の入手というのは特にしてないです。(30代 男性)
- 特に子供達に本を指定したことがない。(70歳以上 男性)
- 生協で情報を得て購入したりもしていました。(50代 女性)
- 学習教材の読み物。(40代 女性)
- クレヨンハウス(定期購読)など。(50代 女性)
- 知人の推薦やテレビでの紹介。(70歳以上 男性)
- ママ友の家に遊びに行った時などに本棚を見る。または、ママ友のSNS。(40代 女性)
- 積極的に得ようとしていない。(30代 女性)

問11 お子さん向けの本は、主にどこで入手します(していました)か。

回答者数	179		
回答内容		回答件数	構成比(%)
1. 図書館で借りる(借りた)		67	37.4
2. 書店で購入する(した)		79	44.1
3. 家族、友人等から借りる(借りた)		7	3.9
4. インターネット通販等で購入する(した)		22	12.3
5. その他		3	1.7
無回答		1	0.6

【その他のご意見】

- 学校の図書館や購入もあるけど、Kindleで見ることも多い。(40代 男性)
- 生協の宅配で購入しました。(50代 女性)
- 幼稚園で定期購入している月刊絵本のみ。(30代 女性)

問12 図書館で開催している読み聞かせやおはなし会に参加したことがありますか。

回答者数	179		
回答内容		回答件数	構成比(%)
1. いずれかに参加したことがある		36	20.1
2. 開催されていることは知っていたが、参加したことがない		80	44.7
3. 開催されていることを知らなかったため、参加したことがない		41	22.9
4. わからない(覚えていない)		20	11.2
無回答		2	1.1

問13 朝霞市では、4か月健診時に、絵本の読み聞かせ等をおし、絵本をプレゼントする「ブックスタート」を実施しています。今までブックスタートに参加したことはありますか（転入してきた方は前住所地についてお伺いします）。

回答者数	179		
回答内容		回答件数	構成比 (%)
1. いずれかに参加したことがある		56	31.3
2. 開催されていることは知っていたが、参加したことがない		17	9.5
3. 開催されていることを知らなかったため、参加したことがない		70	39.1
4. わからない（覚えていない）		34	19.0
無回答		2	1.1

問14 図書館で開催している読み聞かせやおはなし会、ブックスタートについて、ご意見やご感想等があればご記入ください。

- 読み聞かせは、とてもよい試みだと思うので、これからも続けてください。（50代 男性）
- 良いと思うので続けてください。（40代 男性）
- 何回かに分けて開催してほしい。（40代 女性）
- もらった本を気に入っています。（30代 女性）
- ブックスタートは和光市で参加したが、嬉しかった。子どもはもうすぐ4歳だが、今でも読んでいる。（40代 女性）
- ブックスタートは本がもらえて嬉しかった。（40代 女性）
- 朝志ヶ丘から図書館や分館が遠いので行きづらい。公民館などでも開催されると、図書館から遠い地域の方も気軽に行けると思う。（30代 女性）
- ぜひ続けて欲しいです。（60代 男性）
- 読み聞かせは、親が子にふれあうアプローチのひとつと思っています。親のメンタルも整えてくれる作用もあると思いますので、どんどんやって欲しいです。（40代 女性）
- いい取り組みだと思います。（40代 女性）
- 職員がやっているのでしょうか。保護者がやっても面白いかもしれませんね。あと、インターネットでも流してもいいかもしれないですね。（40代 男性）
- 今ではすっかり本嫌いですが、幼児のころは絵本が大好きでした。私も家で読み聞かせをしました。学校の読み聞かせの会にも入っていました。なんで読まなくなってしまったのか不思議です。図書館本館の読み聞かせは、私が車の運転ができないせいで一度しか参加したことがありませんが楽しかったです。小学校の読み聞かせの会でも図書館の方にはずいぶんお世話になりました。その節はありがとうございました。（50代 男性）
- 頻繁に開催してほしいです。できれば、図書館以外の市民センターや施設で出張おはなし会みたいなのをやって欲しいです。居住地によっては場所で躊躇うので。（40代 女性）
- 赤ちゃんが生まれると、お世話に集中して絵本など考える余裕がなかったのでブックスタートで絵本を頂けて嬉しかったです。外国人のお母さんには日本語の絵本を手にするいい機会ですし、赤ちゃん全員に平等にプレゼントされるのがとてもいいと思います。（50代 女性）
- ブックスタートで頂いた本は家でも沢山読み聞かせをして、子供も喜んでいたので良い思い出になりました。（40代 女性）

- ブックスタートでいただいた本は 2 人の子どものお気に入りになったので、とても素敵な取り組みだと思います。(40代 女性)
- 14年前長男の時、4ヶ月健診の時に本館での読み聞かせの案内があり、参加させていただきました。「赤ちゃんでもこんなに絵本を楽しめるんだ!」とびっくりした素敵な体験でした。いただいた絵本は下の子も含めて長く楽しませていただいております。その後は参加できませんでしたが、今も開催されているのでしょうか。ブックスタートはぜひ継続していただきたいです。(40代 女性)
- ブックスタートの現場は知らないのですが、4ヶ月健診以後の健診時においても、コーナーに本を置いておくとか、ポスターを掲示するなどしてはいかがでしょうか。また、健診にお出でになった母親に「日常で読み聞かせている本は何か?」をお聞きして、傾向を把握するのはどうでしょうか。教育、保育、保健の分野で好ましい・望ましい本との差異があるかも知れませんから。(60代 女性)
- 既に小さな子供はいないので利用することは無いと思う。(70歳以上 男性)
- 絵本の読み聞かせは、自宅で毎日行っていたので、特に必要性は感じていませんでした。読み聞かせは、家庭で自主的にやるものという認識でした。(60代 男性)
- 子育ては十何年前の話なので、時代が変わっていると思いますが、読み聞かせやおはなし会が児童館でやってくれと良かったなと思います。ブックスタートは昔にはなかったので、小学生とか中学生入学時にも本のプレゼントをすると良いと思います。(50代 女性)
- 多分知らない方も多いと思うので、みなさんに知った上で参加しやすい場所や時間に開催してほしいです。(50代 女性)
- 参加したことはありませんが、まずは耳から本を読むことの楽しさを知ってもらいたい取り組みだと思います。(50代 男性)
- 子供が小さい頃は、図書館を利用していました。読み聞かせは、参加した記憶がありません。2歳違いで上の子の絵本が必要な時に図書館に行くと、下の子が騒ぐ(泣く)などあり、行く機会が無くなりました。(50代 女性)
- かわいいエコバッグと一緒にいただきました。まんまるおつきさまは、その後もぼろぼろになるまで親子でたくさん読みました。(30代 女性)
- 4ヶ月健診の時、こどもの対応でいっぱいになってしまい、流れ作業的に話を聞いたような記憶がある。(40代 女性)
- 読書に親しむきっかけを作る事ができ、地域の人との交流も生まれ、とても良い催しだと思います。ぜひ続けてください。(60代 女性)
- ブックスタートでいただいたブルーのバッグを子供たちは「自分のもの」という認識でとても大切に使用させていただいております。図書館に通うきっかけを作ってください、とても感謝しています。(40代 女性)
- 子供が4人いたので、参加できなかった。下の子を見てもらえるアシストがあったら参加していた。(70歳以上 男性)
- 非常によい取り組みだと思います。(30代 男性)
- 参加者の人数に関わらず、継続して実施すべきであると思う。(70歳以上 男性)
- 読み聞かせやおはなし会は、お子さんだけでなく親にもやさしい催しで、素晴らしいと思います。頑張ってください。(50代 女性)
- すごく良い行事だと思います。特に子供にとっては、本は成長のために絶対必要なアイテムだと思うので続けてほしいです。(50代 女性)

- 保育園児であったので、参加する機会がありませんでした。(４０代 女性)
- 子供達が幼い頃参加させていただきました。楽しかったことを今でも思い出します。(６０代 女性)
- すでに子育ては終わり、みな結婚してしまいましたが、読み聞かせやおはなし会に参加していれば、子供の
本への興味も増やすことができたのではと思います。(６０代 男性)
- 子供のためには、いいことだと思います。(７０歳以上 男性)
- 今は子供達も大きくなったので、これからは孫達に読書の素晴らしさを読んで聞かせたいし、本をプ
レゼントしたいと思います。(７０歳以上 男性)
- 子供は楽しんで参加していました。(６０代 女性)
- インターネットでお薦めの本を検索し、なるべく読み聞かせるようにしている。(４０代 男性)
- もう成人しているので、幼い頃にはなかったかもしれません。とっても良い企画だと思います。可能
であれば、その時間に自分自身も読書ができるといいと思いました。(６０代 女性)
- 両方参加したことがあるのですが、１０年前位になります。現在１１歳と８歳の子は、ブックスター
トでいただいた本を気に入って、ボロボロになるまで読みました。２人目は１人目とは違う本をいた
だけて良かったです。図書館での会では、同じ月齢の子とお友達になれたことが良かったです。
(４０代 女性)
- 良いことだと思います。(５０代 女性)
- 乳児期のブックスタートは嬉しく感じました。小学校に人気のサバイバルシリーズの貸し出しが多い
です。(４０代 女性)
- 読み聞かせやおはなし会は、親子共に成長できます。(７０歳以上 女性)
- 子供達が小さかった頃は、学校での保護者有志での読み聞かせはやっていて良かったです。今では図
書館での会がたくさんあって、とても良いと思います。(６０代 男性)
- 今から１５～３０年前位、子供が学生の時にやっていればと思います。(６０代 女性)
- ベネッセの教材のように、忙しいお母さんには短時間で覚えられることが利点の一つかと思います。
同じものではないですが、こうした物も良いのではないのでしょうか。(４０代 女性)
- 子供が小さい頃は、寝かしつけに本を読むことが多かったので、ブックスタートで本をもらえるのは
嬉しかった。(４０代 女性)
- 小さいお子さんを連れての外出は大変なので、市内での開催場所を増やすとよいと思います。
(６０代 女性)
- 子供が幼稚園の時に読み聞かせ会に参加させていただきました。子供は熱心に聞いていました。読み
方を工夫されているので引き込まれます。(４０代 女性)
- 本好きの子供達を育てる上で、とても意義のある活動だと思います。ぜひ継続してください。
(６０代 女性)
- おはなし会は開催していることは知っていたが、フルタイムで仕事していることもあり、自らの体調
や自由になる時間がなかったと思う。ブックスタートは知らなかった。２０年以上前からあったのか
しら。(５０代 女性)
- 利用するのは、時間のある乳児くらい。必要性を感じません。(４０代 女性)
- 生後４ヶ月の子どもに、どんな絵本を読み聞かせてあげたら良いかわからなかったのが、参考になっ
た。(４０代 男性)
- とても良い活動だと思います。ブックスタートで頂いた青い図書バッグは中学生になった今も使って
います。(４０代 女性)

- 子どもが小さい時に読み聞かせ会に参加すれば良かった。20～25年前は情報があまりなかった。子どもが3人いたので図書館まで連れて行くのも大変だった。(60代 女性)
- 現在高校生で、2歳違いの娘と息子がブックスタートでいただいた本が被っていたので残念だった。(50代 女性)
- 存在を知らなかった。素晴らしいイベントだと思うので、もっと認知度を上げる必要があると思う。(40代 男性)
- 2歳前後の時、子供が座って聞くことができなかったので参加するのをやめてしまった。(30代 女性)
- 非常に良い取組だと思います。インターネットでは情報収集に限界がありますので、今後も本に取って代わることはないと思います。本を読んで学ぶ重要性は変わらず、小さいうちに本に慣れ親しむことが重要です。(50代 男性)
- 自分の子供が幼かった頃にはなかったような気がします。また、あったとしても平日のみでは連れていけなかったかもしれません。ただ、都内の児童館で読み聞かせを聞いて、子供が夢中になっていたのを覚えています。(50代 女性)
- 開催場所が狭いので、回数を多くしたほうが良い。(50代 女性)
- とても良い活動だと思います。今はもう縁がないのでわからないが、年齢ごとの読み聞かせは、親も子ども穏やかに過ごせる時間だと思います。(50代 女性)
- なんとなく参加しにくい。(40代 女性)

問15 子どもの読書活動の推進に関することで、ご家庭で取り組んでいる(いた)こと等があればご記入ください。

- 寝る前の読聞かせ。(50代 女性、他10名)
- 絵本の読聞かせ。(40代 男性、他4名)
- 子どもが読みたいと言った本は、極力買うようにしている。(50代 男性)
- ひらがなの勉強をしたら、幼児向けの絵本なら自分で読めるようになりました。少し読む手伝いはしていますが、子供に声に出して読んでもらうようにしています。幼稚園で週末、園の本を借りてくるので、どんな本を好んでいるのか分かって助かっています。(40代 女性)
- 毎日本を読み、読んだ本のタイトルを記入する、たくさんたまったらシールのご褒美。(30代 女性)
- 個室を提供する。(60代 男性)
- 興味がありそうな本を買った。お祝いなどは図書カードにしてもらった。(40代 男性)
- 読んで聞かせてあげる。(40代 女性)
- 本は子どもが取りやすい所に置く。(30代 女性)
- 小さい時はこどもチャレンジで毎月送られてくる絵本を読んでいた。今は定期的に図書館へ行っている。(40代 女性)
- 寝る前に1冊でも必ず本を読む時間を設けている。(30代 女性)
- 読書の機会を設けること。(60代 男性)
- 読んだ本の感想をお互いお話しして、「よかったところ」や「こんなところが感動したな」と気持ちを共有して本好きになってもらいました。(40代 女性)

- 長男は自分で本を読むのがあまり得意ではなかったので、夜寝る前や夕ご飯を食べながら本を読み聞かせていた。良いとされている本ではなく、アップダウンのある妖怪や動物たちが主人公のお話をあらかじめこちらが把握した上で読み聞かせていた。大事なのは章で区切るのではなく、ドラマと一緒に「ここで終わるの?」というところで「おしまい、また明日ね」と言った工夫をしていた。
(40代 女性)
- 絵本の読み聞かせや、一緒に図書館に行ったり、読みたいという本を買ったりしています。
(40代 女性)
- 自分が本を読む機会を増やして、Kindleを購入するなど、本に興味を持つように心がけました。
(40代 男性)
- 読んだ本について、子供と話をする。子どもと一緒に図書館へ行って借りる。子どもと一緒に古本屋へ行って、本を買う。(50代 男性)
- 読み聞かせと、まずは自分が読むこと。でもダメだったみたいです。(50代 男性)
- 寝る前に読みたい本を親が読んでいる。(40代 女性)
- 夜寝る前に読み聞かせタイムをなるべく作るようにしています。(40代 女性)
- いろんな本に触れ合うよう、常に本を身の回りに置いておく。(40代 女性)
- 転勤で英語が必要だったので、英語の絵本や物語を沢山読みました。(50代 女性)
- 子供に読み聞かせをする。親が読書をする姿を見せる。(40代 女性)
- 図書館で借りた本や本屋で買ってきた本を本棚に並べています。好きなときに手に取って読めるのがいいと思います。また寝る前には読み聞かせをしていました。(40代 女性)
- 好きな本を自由に読ませていました。(70歳以上 男性)
- 幼児のころに絵本の読み聞かせをしていた。(60代 男性)
- 就寝時の読聞かせ。子ども用の本棚の整理。親の読書習慣。親自身が自分の読書の経験から身につけたこと、得たこと、学んだことを子どもに伝える。(60代 女性)
- 毎晩寝る前に絵本タイムを設けています。絵本を読んだら、寝るという習慣がつき、寝付きも良くなりました。(40代 女性)
- 毎月絵本が届く定期購読に登録している。(20代 女性)
- 手に取りやすい場所に置く。本の内容を話題にする(中学生以降)(50代 女性)
- 両親ともに読書が好きであることが前提としてあります。そして、子どもに読書をすすめることよりも、両親ともに自宅で読書をする事です。両親が自宅で自然に読書をする事で、自宅に常にある状態になります。そうすると、子どもにとっては、自宅に本があること、読書することが当たり前になります。両親が読書をしないのに、子どもには「読書しなさい」は通用しません。子どもが中学になってから、自宅にある岩波文庫のいわゆる古典とよばれる名作を薦めたところ、読書好きになりました。(60代 男性)
- 子供が小さい頃は、絵本や本での知識を確認しに動物園や美術館展示会などに行きました。
(50代 女性)
- とにかく本はいつでもいくらかも買いました。マンガ、小説、図鑑なんでも。身内からのお年玉はいつも図書カードでもらっていたため、子どもたちも好きな時に自然と自分で買いに行っていました。
(30代 女性)
- 物語文にこだわらず、図鑑的なものでも取り入れている。(40代 女性)
- 普段あまり本を読まないのに、寝る前に必ず一緒に1冊は読むようにしています。(40代 女性)

- 特別な事はありませんでしたが、小さい頃はやはり読み聞かせでした。子供が主人公の作り話もやりました。(60代 女性)
- 布団の中での読み聞かせは大きくなってよく覚えていてくれました。20分ぐらいで寝てくれました。(60代 女性)
- 就寝前の読書活動を続けています。図書館で本を借りてきて、子供に読ませています。(40代 女性)
- 書店と一緒にいく。読み聞かせ。(30代 男性)
- 漫画から本へ変わっていったと思います。未だに漫画もよく読んでいます。(70歳以上 男性)
- 興味を示す本は必ず購入した。(70歳以上 男性)
- 図書館へは足繁く通いました。私自身読み聞かせのグループにいたこともあり、練習がてら毎晩絵本の読み聞かせを寝る前にしていました。本に接する時間が多く持てたためか、今では私より子供達の方が本を読む機会が多いようです。(50代 女性)
- 毎夜、必ず娘には音読して大切な時間を持っていました。「本は楽しい」と教えていました。(50代 女性)
- 目につく所に本を置いておくことで、自分から進んで読んでくれると思いました。(40代 女性)
- 本の内容について子供と話し合っていました。(70歳以上 男性)
- どのような本でも読んでいる本は黙って読ませしていました。(60代 女性)
- 作家や題名がとにかく気になった本は、本屋で実際に手に取って中身を確認させていました。また、夏休み前に発行される各出版社の冊子は必ずチェックしていました。(60代 女性)
- 小学校低学年くらいまで、毎晩寝る前に読み聞かせをしていた。(50代 女性)
- 面白いと思った本は、家族みんなで回し読みをしていました。(50代 女性)
- 寝る前に好きな本を選ばせて読み聞かせしていた。その結果、今では子供が自分で読んでから寝る習慣がついた。本を読まないと眠れないくらいでもある。(40代 女性)
- 小さい頃から絵本の読み聞かせはとてもやっていて、毎日本に触れていました。大きくなってからは、男の子なのか、外で遊ぶことが多くなり、読書する時間は減ってしまいました。(60代 男性)
- レビューを読んで本を選び、購入後に心を込めて読んであげるためにリハーサルをして、プレゼントの時に読んであげる。(60代 女性)
- 本の楽しさは自分で感じないとダメなので、小さい時から絵本を読んであげていました。(60代 女性)
- 子供任せでした。(60代 女性)
- 紀伊国屋書店によく行っていました。大人でも子供の本コーナーは楽しい物が多くありました。次男は、言語能力に障害のある子どもですが、私が興味を持った本を選び、子供と一緒に読みながら、理解しやすいように読み砕きながら説明していたので、こども自身が理解できた喜びがありました。シールドという村上龍の作品でしたが、最近まで読み返していました。(40代 女性)
- 夏休みや冬休みなどの長期休みの時には、図書館で本を借りていた。(40代 女性)
- 寝かしつけの時に必ず読み聞かせをしていたと思う。第一子の時は、お昼寝と夜の2回はしていたと思う。こまめに近くの公民館に一緒に行き、自分で絵本を選ばせていた。絵本の中のセリフを親から日常会話の中に真似て口ずさむと、子供達はそれを受けて絵本の中の言葉で返してきた。それは子が成人した現在も時々あるほっこりとした一時です。(60代 女性)
- 寝る前に本を読む時間を作っています。子供が文字を読めるようになってからも読み聞かせをしています。子供が私と交互に1ページずつ読むこともあります。(40代 女性)

- 絵本は私のセレクトになってしまうが、かなり買ったと思う。ごく小さい時は寝る前に読んでいた。
(５０代 女性)
- 月齢で必要な本を調べ与えています。(４０代 女性)
- 本の感想は多く話した。読書する姿は見せていた。本の購入は制限無しにしていた。
(７０歳以上 男性)
- 子どもが読みたい本ばかりでなく、幅広いジャンルの本を揃えるようにしました。物語・図鑑・日本
地域の特色・お料理など。(４０代 男性)
- 出来るだけ色々なジャンルの本を借りて目の届く所に置いています。また、子供が借りてきてほしい
といった本は、図書館に寄って借りてきてあげると喜んでくれます。(４０代 女性)
- 定期的に図書館に行って借りていた。(５０代 女性)
- 家では寝る時に読み聞かせをするように心がけていた。子どもが小さい時は図書館まで行くのが大変
だったので、幼稚園から毎月おすすめの本を購入するシステムがあったのでそれを利用していた。
(６０代 女性)
- 幼い頃は毎日読み聞かせをしました。(５０代 女性)
- 夏休み冬休みには必ず伝記物や推薦図書を２冊は読むようにしました。(７０歳以上 男性)
- 子供は部活でなかなか図書館に行けなくなってしまったため、現在は図書館は遠い存在になってしま
いました。私は毎週図書館に行っているので、子供が読みそうな本を見つけたらまず自分が読んで、
子供に勧めてみます。その時に子供のアンテナに響けば読むこともあるし、読まないこともあります。
読んだときはお互いの感想を言い合って、コミュニケーションをはぐくんでいることが読書活動の推
進になっているのかもしれない。(４０代 女性)
- 幼少期は読み聞かせ。小学生になってからは、夏休みに必ず読書感想文に取り組みさせた。
(５０代 女性)
- 子供と一緒に本を読む、本を読んでいる姿を見せる、一緒に図書館へ行き本に触れ合う機会を増やす
等を行った。(４０代 男性)
- 子どもが小さい頃は毎日のように読み聞かせをしていました。その当時に読み聞かせしていた物語は
未だに憶えているようです。親子のコミュニケーションの機会としても、子どもの情操教育的にも、
読み聞かせはとても良い効果があると思います。(６０代 女性)
- 日々の宿題としての音読。古本や、書店での買い物ついでに欲しい本がないか子供と探したりしてい
る。(３０代 女性)
- 寝る前に本を読んでいた。図書館では、自分で本を選べるように好きな本の場所や利用方法を教
えました。幼稚園の頃、幼稚園で本を月に１冊購入する制度に申し込んで、子供が本を手にとれる環
境にしていました。(５０代 女性)
- 特にこれということはしなかったが、親が読書をしているのを見て関心を持ったのではないか。
(５０代 女性)
- 寝る前の読聞かせ。どんなに忙しくても一冊。時間がある日は子どもたちのリクエストに応じて何冊
でも読む。(３０代 女性)

問16 子どもが読書に親しむようになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。最も当てはまる選択肢一つに○をつけてください

回答者数	260		
回答内容		回答件数	構成比 (%)
1. 家庭での読書習慣		171	65.8
2. 子どもが所属する保育園、幼稚園等や小中学校での支援		60	23.1
3. 図書館での支援		8	3.1
4. その他		14	5.4
無回答		7	2.7

【その他のご意見】

- 都心の親はなかなか忙しい。本を与えても、与えるだけでは子供は読まないのでは総合の時間などに本を基にした創作劇などをみんなで作り上げたり本を実際につったり多角的に文字や世界観みたいなものと向き合う時間を作ってあげられたらいいと思う。(40代 女性)
- 周りの大人(親や先生)が普段から本を読んでいること。また、それを子供が見ていること。(30代 男性)
- 学年や年齢関係なく、小説でも絵本でも漫画でも雑誌でもいいので、とにかく興味を持った物を読む事(内容をじっくり読んだり考えながら読む)を持つ機会を与えてあげて欲しい。YouTubeや動画もいいのですが内容をサラッと流してしまいがちになるので時間をかけて読む、繰り返し読む、好きな本を見つける機会があればいいと思います。(40代 女性)
- わからないとしか言いようがありません。(50代 男性)
- 指示したり学校などで強制するのではなく、自分が興味のあるものについて、読んだり調べたりするようにしていく事が必要だと思います。(40代 男性)
- 好きな本を自由に読ませていました。(70歳以上 男性)
- 本の楽しさを教える。(70歳以上 男性)
- 身近な大人が本を楽しんでいること。(40代 女性)
- 移動図書館があるとよい。(60代 女性)
- 必然的に本を読む機会が持てるため、学校で毎日少しでも読書タイムがあるととてもよいと思います。(50代 女性)
- 読書＝物語ということになっていると思う。読書は専門書や図鑑も含めると、色々な好みの子供に対応できると思う。(40代 女性)
- 読書活動に関心を持ってもらう。それには、家庭での読書の習慣を親が中心となって模範になることや、本を身近に置いて常に目に触れさせたりして、文字に慣れさせる。そして、その奥にあるものが何かを導いてあげることが大切だと思います。(70歳以上 男性)
- スマートフォンを見る時間を減らす。(50代 女性)
- 選択肢の1～3全部。(40代 女性)

問17 子どもの読書活動の推進に関することで、ご意見やご要望等があればご記入ください。

- 図書館にコンビニスペースを設けたりアート会場に開放したり、館内の規律とかを緩和して、利用者の対象範囲を広げる。(60代 男性)
- 本を読むのはとても良いことですが、TV・ゲーム・スマホ・その他遊びなどが多すぎて積極的に本を読もうとしないと中々難しいので、学校などで本を読む時間(給食の後は必ず読書を行うなど)を設けると良いと思う。(40代 男性)
- どんな本が面白くておすすめなのか、市報にも掲載して欲しい。(40代 女性)
- 公民館の本も定期的に入れ替えがあると、選ぶ楽しさが増えると思います。また、推奨年齢別に陳列されているとありがたい。本の修繕ももっと力を入れてほしい。(40代 女性)
- 親も本を読まない人が増えて来ているのでイエスノーみたいなもので進めるオススメ本などがいいかなと思う。好きなもの 色、お笑い、性別ではなく、動物とか妖怪とか妖精とか親の読書の扉も一緒に開けると難しいけれど一番良いと思う。(40代 女性)
- 子育て当時は家計のやりくりで、図書館で借りてばかりいたが、どこかきりつめてでも購入してあげたらよかった、と反省しています。(50代 女性)
- 小学校・中学校等の学校で主に国語の授業の最初 10 分程度、好きな本を読むことを続けると、本を読むことに抵抗なくなるようであった。(50代 女性)
- 子供のいる友人が言っていましたが、図書館での紙芝居を使った読み聞かせに、子供が喜ぶと言っていました。(50代 女性)
- 家庭での教育が主体でよいです。図書館は多様な本を収蔵することに重きを置いて欲しい。(40代 女性)
- 保護者が読むことも面白いと思いますし、図書館での読み聞かせは知らなかったなので、告知した方がいいと思います。読み聞かせもいいですが、紙芝居も面白いと思います。(40代 男性)
- まず親の意識を変えていく必要があります。親が本を読まない家は、子供も本を読みません。親子の会話が少ない家庭では、子供の言葉の理解力が低く、読書から遠ざかってしまいます。親がスマホに向き合う時間を減らし、自身が本を読んだり、子供と話をしたりする時間を多くするべきです。なかなか難しいことですが、親の啓蒙の機会があるとよいと思います。(50代 男性)
- 「この本が面白い」と勧めるのはいいとしても、「あれはダメ」とか「つまらない」とか、否定するのは良くないと思います。子供に相応しくないような内容やショックを受けるような内容の本でも、たくさん読めば薄まります。耐性をつけることも大事だと思います。(50代 男性)
- 何を読んであげたらいいかわからず、過ごしてしまったため、幸い本が好きで社会人になっても、よく読んでいるようだが、オススメを知りたかった。(50代 女性)
- 図書館や図書室を敷居の低い場所にし、どんな本が好きなのかを話せる人がいて、本を紹介してくれる人がいると良いと思います。(40代 女性)
- 強制しない。興味のない本を読んでもその時間を過ぎるのを待つだけになってしまうと思います。(40代 男性)
- 読書を好むかどうかは性格によると思うので、推進はいいと思うが、読書が嫌いな子や苦手な子供に強制しないようにできたらいいと思う。(30代 女性)
- 小さい頃、図書館で借りた紙芝居を母に読んでもらうのが楽しみで仕方がなかったのを思い出しました。楽しみながら物語に触れる機会は大人になっても忘れないものですね。(30代 女性)

- 学校の宿題に童話や文学作品の読書を頻繁に取り入れる。(有名な童話や文学作品を知らない子が多く、例えば話に引用しても分からないため。)読書でポイント稼ぎできるようなシステムがあって貯まるとお菓子に換えられるようにする。限定作品に限り、電子ブックをコピーや転送できない鍵付きでパスワードを配布し、小中学生のみ公開する。(50代 女性)
- 子供の年齢層にもよると思います。小さいうちは親が子供に読み聞かせたり、小さい時に好きだった作品を子供に受け継いだり、自発的に読むのが難しいので、周りのひとの意見や話から「読む」ようにしていけばいいかと思います。また、ご意見箱のようにみんなにオススメを書いてもらい、文面だけでなく、イラストをそのまま本と一緒に張り出したりとかしてみる。あとは、映画やドラマ化された作品の原作も比較的手に取りやすいかと思います。個人的には朝霞市の図書館は作品数が少ないと思うので、もっと充実させてほしいです。(30代 女性)
- 子供たちの興味がある本を読むことで、読書が嫌いにならないようにすることが重要。幼児期に興味を示した絵本から始まり、好きなマンガでも本から情報を得る楽しさを体験させることが大切だと思います。(70歳以上 男性)
- タブレット教育が始まりましたが、本をめくる楽しさはタブレットでは味わえません。図書関連の予算を減らすことのないよう、お願いいたします。(40代 女性)
- 最近は動画やブログ等でも勉強はできるため、無理に読書を強要する必要はないと思う。私もそうだが、読みたくなれば自然と読むようになると思う。またタブレット等の電子書籍に触れさせてみるのも良いかと思う。個人的には紙より読書のハードルが低い印象。(20代 男性)
- 家庭以外では、保育園・幼稚園、児童館、学校にて本に触れる機会を常時用意することで、子供たちが本に親しみ読書が自然に習慣となると考えます。(60代 男性)
- 自分が子どものころは、親が家で本を読んでいる姿を見て自然にその姿を真似るように本を読むようになりました。親子で図書館へ行き一緒に本を借りました。そうすることで、自然に読書をする習慣がついたように思います。なので、子どもの読書活動の推進のためには、家庭での読書習慣をつけることが必要だと思いました。(50代 女性)
- コロナで、授業がオンライン化される事もあり、学校や公共図書館を利用できる環境や機会も減っていると思います。図書館や書店の書籍だけでなく、電子書籍やインターネットなどのツールも活用して、隙間時間や休日などに、読書する事を習慣化できる様に、支援してほしいと思っています。読書の習慣は、自身の知見や世界観を広く形成できるツールですし、文章から情景を想像し、伝えたい事や自分の考えを要領よく他者に伝達する力を養う事ができ、想像力や知育につながるとなっています。「活字離れ」と言われていますが、幼少期の読書習慣が、大人になってから、役立つ事が多々あると思います。テーマを決めて、本を読んで調べて発表する授業や同じ本をクラス全員で読んで、それぞれの意見、感じた事をディスカッションするなどの読書できる機会を与えられる取り組みの導入や、読書機会を支援できる政策を検討してほしいと思います。(30代 男性)
- 私は共働きの家庭で育ちましたが、親は疲れきっていて家庭で読み聞かせはなかったです。小学校に入学時に、父親が同年代の子が読みそうな本をいくつか買ってきてもらい、興味のある本を読むようになりました。シングル家庭だとそれ以上に機会が少ないかもしれません。集団で過ごす場で、本の紹介や読書時間を設けてもらえると、多くの人が読書習慣が身に付くと思います。(40代 女性)
- 家庭での教育が重要だと思うが、本を読まずにインターネットでのSNSに流れている習慣を変えるのはかなり難しいと思う。紙の本からインターネットでの絵本や童話や種々の本の視聴環境を整える必要があると思う。(70歳以上 男性)

- 家庭でやれることは、両親がともに本を読むことが好きになることです。ということは、まず親が読書習慣をしっかり身に着ける必要がある、ということになります。そのためには、幼稚園・小学校・中学校と図書館が連携して、親子で図書館に関心をもってもらうことを考えなければなりません。例えば、「幼稚園と小学校低学年ぐらいまでは、図書館での読み聞かせの会に親子で参加してもらう」ということは必要かもしれません。そして、子どもが図書館に来るようになったら、そこで本を読むことのできるスペースが必要になります。現在、本館・分館ともに、子どもたちが読書ができる十分なスペースが不足しています。昔ながらの独立した閲覧室の充実を切に望みます。(60代 男性)
- 私は専業主婦の親に連れられて、就学前は町の図書館に良く通っていました。その後は学校内の図書館にも行きました。大人になって通勤族に嫁いだ今でも、地方の図書館通いは続いています。本好きな子供は沢山いると思います。学校で支援してもらえると良いと思います。(50代 女性)
- 子どもの頃の読書習慣の有無で、大人から特に社会人の中で昨今の正解の無い問題に向き合って生きていかなければならない。今や未来に必要な判断力や決断力に歴然とした差が出ると考えます。家庭での読書習慣だけでは、多様な家族環境がある中、難しいのではないかと思いますので、教育機会を通じて習慣づけの仕掛けや推進があるとよいと思います。読書の入口が楽しいものであるとよいと思います。夏休みの宿題にあった課題図書を読んで感想文を書くというスタイルは、自身も苦痛でしたので、縛りがない形で楽しく入っていけることが、先の人生で読書習慣がつくかどうか左右されると思います。(40代 女性)
- 生まれた時からスマホがある子供達なので、電子タブレットで無料の貸出をするのが良いと思います。(50代 女性)
- 先ずは習慣化することが最重要。小さいうちから、本に慣れ親しむ(子供の周りに書籍が置いてある)、分野は何でも良い(子供が興味を示すものなら何でも)、家庭で大人が率先して読書する姿を見せる、図書館等で借りやすい環境作り、読書感想文等の面倒なことは行わない。(60代 男性)
- 読書っていいなと思う本に出会うきっかけが大切。難しいですが。(60代 女性)
- 保育園や学校など、集団生活の中での読書指導が一番有効だと思います。ここから図書館の利用につながっていくと思います。(60代 男性)
- 図書館の充実。朝霞市の図書館は酷い。クーラーの微調整すら出来ず、雨漏りがするような図書館などあり得ない。公務員住宅の建設より前に図書館の建て替えが必須だと思います。(50代 女性)
- 今はスマートフォンやゲームにより、本というものに触れる時間が無くなっていると見ています。学校とかで本を読む力をつけてあげると良いですね。(60代 女性)
- 学校に子供が興味を持ちそうな本を置き、その本を読む機会をたくさん与えることが大切だと思います。(50代 女性)
- 新しい本を取り入れることだと思います。(40代 男性)
- 中学生になると、どうしても読書の時間が減ってしまう気がします。中学生が図書館に行きたくなり、本を読みたくなるような企画を考えていただけたら嬉しいです。小さな子から大人に向けて作家の先生を招いたイベントを実施していただけたら嬉しいです。(40代 女性)
- 本に楽しいことが書いてあるということを、身をもって教える。本を読んで楽しかった体験を子供にさせる。(70歳以上 男性)
- 移動図書館があるとよい。図書館は遠いので、返却が面倒である。(60代 女性)
- 朝霞市おすすめの書籍があると良いと思います。学校などで人気のある本などの紹介。(30代 男性)
- 常に周りに本を置いておく、そして一緒に読むこと。(70歳以上 女性)

- 漫画も含め、どんな本を読んでも親としてNOと言ったことはありません。(70歳以上 男性)
- 学校と家庭の双方で本を読むことの楽しさを教えることが必要だと思います。(70歳以上 男性)
- 最近タブレット等で見たり読んだりすることが多く、読書離れが多い。絵や漫画を取り入れ、できるだけ分かりやすい言葉や文章を使っている本が、読書活動の推進となると思います。(50代 男性)
- 小学校での読書の時間、忙しくて時間を割くのは難しいだろうと思います。でも、子供の成長には大切なでないかと思います。お昼休みや朝の時間に読み聞かせをしてあげるのもいかがでしょうか。中学生の朝読書もいかがでしょう。(50代 女性)
- 読書活動はもっともっと推進してほしいです。図書館の他にも地域(公民館等)での読み聞かせやおはなし会の開催回数を増やしてほしいです。紙の質感が好きですし、本は大人から子供にできる唯一のキャッチボールのような気がします。応援していますし、お手伝いもしたいです。(50代 女性)
- 児童館等で本を推薦し、分かりやすく展示する。(70歳以上 男性)
- 子供達には家庭が一番大事。小さい時に読書で親しんでいれば、親が読書に親しんでいれば、子供達も自然に読書が好きになると思う。(70歳以上 男性)
- 楽しい活動を親子で参加できる読書会などの活用や、図書館での支援が重要ではないか。
(70歳以上 男性)
- 一から調べる習慣を付けて図書館へ行く教えが良い。(70歳以上 男性)
- 図書館が遠かったり、借りるのが面倒だったり、自分の好みのジャンルの本が図書館に少なかったり、本が手っ取り早く手に入る環境がもっとあるとよい。(40代 女性)
- 読み聞かせをして興味をそそる。(60代 女性)
- 子供の担任の先生が、学校に青色文庫の本を持って来て下さって、親の時代にはなかった本を子供に与えてくれたことが、子供にとって良かったと思っています。(60代 女性)
- これまで読書感想文を書かせることが多かったが、子供が自分で作ったお話を書くような機会を増やしていくべきである。(50代 男性)
- 図書館のコーナーやホームページで、お薦めの本を紹介してほしい。(40代 男性)
- 子供の面倒をスタッフの方々が見てくれるのならば、自分もその時間に小説や雑誌を読んでリフレッシュできたら良いと思います。本が好きな人は、図書館・本屋で本に囲まれているだけでストレスが軽減されます。(60代 女性)
- お子様向けに積極的に予算を組んで実施していただきたい。市の広報でも、家庭や学校での読書の大切さを述べていただきたい。(70歳以上 男性)
- 現在2人の子が市内の小学校に通っています。借りたい本でも人気があると、なかなか借りることができないようです。児童数が多い学校なので、本の数についても考えていただきたいと思います。新型コロナウイルス感染症の流行前は、保護者による学校での読み聞かせもあったのですが、無くなってしまい残念です。(40代 女性)
- 親が読書を楽しんでいれば子供も興味を持つと思う。親がスマートフォンばかり見ていてゲームしていれば、子供もスマートフォンばかり見るということは、多少あると思います。(50代 女性)
- 保育園は読み聞かせがあり、小学校は読書タイムがあるので、本に親しむには良いと思います。
(40代 女性)
- 私は今現在70歳を過ぎた老後の生活を過ごしています。子供の成長期には図書館に通い、そこで時々お話に来られる先生方と本の面白さを共に楽しませていただき、子供に本の楽しみ方を学ばせていただきました。やはり図書館は人生の原点です。(70歳以上 女性)

- 家庭だけではなく、学校や地域の図書館などで本に触れる機会がたくさんあると、本を身近に感じると思うので、そういう機会を増やすことが大切だと思います。(60代 男性)
- 子供はみな本が大好きだと思います。最初は大人が丁寧に演出して読むと喜びます。(特にお母さんが読んであげると喜びます) そのあとで、自分で読むようになると思います。(60代 女性)
- 今の子供達はスマートフォン世代ですが、中には本の楽しさを知っている子供もいます。新聞の読書のページなどを読むと、子供の感想文が良くて感心します。ただ、今の子供達は、私達の頃と違い、日本文学を知らないのがかわいそうかなと思います。それを教える先生もいないのじゃないかな。(60代 女性)
- 漫画での表現のものでも良いかと思います。興味を持つことから大切かと。(40代 女性)
- 教育部門との連携が必要ですが、年齢が進むにしたがって、読書後の感想中心の意見交換ではなく、欧米のようなディベート的な活用も望まれる。(60代 男性)
- インターネット社会が急速に進んでも、書籍が無くなることはないと思いますので、読書から得られる知見が数多くあることを子供達に伝え続けてほしい。(40代 男性)
- 今インターネットが普及している中、本を読む機会が減ってきていると思うので、子供のうちから本を読む習慣をつけることは必要だと思う。(40代 女性)
- 子供達が幼稚園に通っていた当時、週末に幼稚園の本棚から好きな本を選んで借りてきて、月曜日に返却するシステムだったと思う。そうしたきっかけや習慣や働きかけは大切だと思う。(60代 女性)
- 家庭の中に本があり、親も好きであっても、子が本を必ずしも読書好きとはならないのかもしれない。私は本好きでしたが、弟はあまり好きではなかったようです。学びの場で楽しさを教えていただければと思います。興味を持ったことに関して読み始めてみて、幅を広げて好きになってくれたらと思います。(70歳以上 女性)
- 映画やドラマになった小説を読むように子供達に勧めれば、多少は本を読むことへのハードルは下がるのかなと思いました。小学生の頃の「センターオブジアース」の小学生向けの小説が教室に置いてあり、毎日少しずつ読んだことから読書の楽しさを知ることができました。(20代 男性)
- 住んでいる地域によっては、図書館へ子供を連れていくには遠いので、公民館やそういったエリアで本が読めて、借りられる場所を強化しアピールしてほしい。(20代 女性)
- 子供が好きな本に出会えるように、図書館に色々な種類の本が置いてあると良いと思います。(40代 女性)
- 主に読み聞かせ(子供が小さい頃)をしていました。子供が興味を持った本や、親が読んで欲しい本を与えてきました。(購入したり、図書館で借りたり)(60代 男性)
- スマートフォンやインターネットが普及した今、なかなか難しいと思う。子供は親の背中を見て育ってはいないが、親にも読書習慣がないと駄目だと思う。(50代 女性)
- 小学校の図書館が自由に使えると、子供達も本を読む機会が増えます。現状は、週に1度授業として図書館で本を借りています。休み時間20分、昼休み20分の計40分休み時間があるのに利用はできません。今の子供達の帰宅後は忙しいです。自宅でゆっくりする時間はないので、夕焼けチャイムの17時30分を短縮するなど、帰宅が遅くなるので、改善しないと、全てを家庭で行うのは難しいです。(40代 女性)
- 親の意識が重要だと思います。ネットでの情報収集だけではなく、読書を通して自分で考え、行動のプラスにすることが理想でしょう。(70歳以上 男性)
- 小中学校の図書館を充実させて欲しい。(50代 男性)

- 図書館に行けば、どのような専門分野でも調べて、学習できるという安心感が欲しい。多少専門的になると書籍がなく、より学習したい場合の障壁となっている。(70歳以上 男性)
- 小学校で週に1回図書館で本をかりる営みが、本に触れるよい機会となっているため、これからも継続してほしいです。子どもにおすすめの本を、学校の先生の視点から紹介してもらえると、本を家庭で選ぶきっかけになると思います。先生が子供の頃に読んだ本のタイトルや思い出でも構いませんので紹介いただけないでしょうか。(40代 男性)
- 今はスマートフォンばかりで、小さな時から読書が好きにならないと大人になってから本を読む人が少なくなると思います。ライトノベルなど、子供が喜んで読める本を増やすのも必要かと思います。(50代 女性)
- 朝霞市では図書館や図書室がいくつもあり、どこで借りても返しても良い仕組みなので、本当に有難いです。近所の図書室に無い本でも、予約や取り寄せて頂けるので、便利に利用させて頂いております。(40代 女性)
- 日本史や世界史の漫画を読むことも読書だと思うのですが、漫画は読書をしていると思ってもらえないと子供達は思っているようです。好きな本は何度も読んでいても面白いけど、年齢に合った本を読むように言われて楽しくなったと言っていました。色々な分野の本を読みたいと思うきっかけが大事だと思います。(50代 女性)
- 子供は朝霞市ではなく別の土地で育てましたが、小さい頃は、よく休みの日に家族で本屋さんに足を運んでいた。今も移動図書館はあるのでしょうか。公園とかに本を積んだ車がきてくれました。(70歳以上 女性)
- ゲーム感覚でもよいので、より多くの本を読む機会を設けることが重要。本人の興味のあるもの以外でも課題図書で読んだりできる機会を与えてほしい。また、ただ与えるだけではなくて読み方を教えることも必要。同じ文をスマートフォンやパソコンですぐに調べるのではなく、本から得る知識は基礎力の向上となるほか、語彙力をつけるためにも読書は大切だと思う。電子ブックも当たり前になっているので、電子での読書手段の提供も考慮いただきたい。(40代 女性)
- 読書カードがいっぱいになったら何かご褒美をあげる。(50代 女性)
- 必ず読んでといった本は読んであげた。図書館で気に入った本を買うようにしていた。(50代 女性)
- 一冊の本を劇の台本のようにして、家族で配役して読んでみました。(30代 女性)
- 家庭での支援も必要だが、そこは家庭環境による差が出てきてしまうので、保育園幼稚園小学校といった場での読書推進が1番大事だと思う。その次に図書館や公民館などで支援することが良いのではないかと思う。人気の本や最新刊をもう少し増量してくれたら、子どもたちも手に取りやすいのではないかと思った。(20代 女性)
- 読書と聞いて雑誌や漫画がよく除外されるが、本をよく読む人は漫画あるいは雑誌、新聞などなんでも読む人が多いような気がする。最近は漫画で様々な知識を得ることができるので、本と漫画、雑誌を別のジャンルに分ける必要はないと思う。漫画以外の本を子供に推進したいのならば、まずは漫画や雑誌でインターネット記事などの活字に慣れさせ、徐々にライトノベルや児童文学などの読みやすい本を読ませるとよいと思う。(20代 男性)
- 今後ますますインターネットの普及が進み、本離れに拍車がかかりそうで心配だ。本も高価なのでなかなか購入出来ない。巡回図書館などがあれば便利だと思う。(60代 女性)
- 幼児期の読み聞かせが最も有効だと思うが、家庭がそのような環境にないなら、行政が手を差し伸べるとよい。(50代 女性)

- スマートフォンやタブレット、ゲーム等と距離を置く事が大事。(40代 女性)
- 小学校での朝読書や図書館利用の推進によって、短時間でも毎日読書ができる時間があるのが良いと思います。(50代 女性)
- まず家庭内から始めて、幼稚園や学校等でより推進して行く流れをもっと啓発して、支援していくべきだと感じる。読書で色々学べることを家庭から考えるようにしていくことで、より子供の成長に繋がると思う。(40代 男性)
- 子供の頃に、読んで楽しいと思える本と出会えたかどうかその後の読書習慣につながると思う。私自身は、未就学児のときには絵本や紙芝居の読み聞かせを楽しみにしており、小学生になってからは、学校の図書室や市の図書館で児童書を自分で選んで読んでいた。たくさんの絵本や紙芝居に触れて、物語の楽しさを経験したからではないかと思う。(30代 女性)
- 本屋さんで、大人向けには、お勧めの本のランキングがあり、選ぶ際にとっても参考になります。お子様向けの本も、年代別のランキングがあると購入の際の情報にもなり、また、本をプレゼントするのにも役立つと思います。学校の授業でも、読書タイムがあると良いかと思います。推奨図書を読破したか、皆にわかるように掲示することで、読書の頑張りを見える化し、モチベーションも上がると思います。感想文を書くのは、時には重荷になるかと思うので、わくわくした部分、おもしろかった部分、悲しかった部分などを書き出していく読書ノートがあると、読みっぱなしにならないと思います。その読書ノートには、本を読んだ記録のページがあれば、読書の履歴となり、振り返ったときの楽しみも持てると思います。(60代 女性)
- いかに本人が自発的に読みたいという欲求を喚起できるかによるので、本にもゲーム同等に面白いと感じるコンテンツがあれば良いのですが、具体的な案はございません。(50代 男性)
- 図書の回収ボックスを朝霞駅(例えば交番横)に設置してもらうと便利になると思います。(60代 男性)
- 読み聞かせが読書に進む大きなきっかけになると思います。読み聞かせで、例えば快い風を感じたり、まだ見ぬ世界を想像できたりできれば良いと思います。(70歳以上 女性)
- 本を読んで想像することが、相手を思いやることや自分以外の考えを受け入れることにつながるのではないかと思います。大人が読ませたい本ではなく、子供が興味のある本を見つけられるように棚の工夫をしてほしいです。自分もそうでしたが、中学生になると図書館から離れてしまいます。学校図書館と市の図書館の連携をするなどしてほしいです。司書資格を持った人が、人と本の向き合いを考えてほしいです。(50代 女性)
- 小学校でボランティアの方が読み聞かせをしており、大変ありがたいと思います。コロナ禍で難しい所ありますが、続けていきたいと思います。(50代 女性)
- 子供が読むような本を親がまず読んで、親が子供だった頃に読んでいた本の感想やあらすじを話した。それによって、その本を自分から読んでみたりしているうちに、好きな作家やジャンルを見つけていくことができました。「この本面白かったよ」と成人になった今でも話したり勧めてみたりしているので、感想文など集めて、冊子など定期的に作ったりするのはどうだろうか。(50代 女性)
- 以前のアンケートでも要望しましたが、子どもの読書貯金や読書通帳機を設置して欲しいです。いま図書館で用意してくださっているのは紙の読書通帳ですが、子どもたちも記帳するのが楽しくなって本を読むように(借りるように)なるだろうし、毎回十冊以上記入する手間も省けて親も助かります。読んだ本を記録でき、子どもたちの宝物になると思います。全国でも、導入したことにより図書館の利用者が増えたという声が沢山あがっているようです。(30代 女性)

- 図書館が少ないと足が遠のくので、図書館の数を増やして欲しい。(30代 女性)
- 図書館の品揃えをもっと充実させて欲しい。(40代 女性)
- 車で移動図書館があると良いです。老齢なので、歩くのができなくなった。(70歳以上 女性)

自由記入欄

今回のアンケート(レイアウト・質問方法・構成等)について、ご意見などがございましたら、こちらに記入してください。

- 職員の方々がきちんと取り組んでいるのは、このアンケートで知ったので、あとは告知の方法や保護者も参加型にすれば、もっと良いのかなと思いました。どうしても日本人の気質的に「でしゃばってはいけないのかな」と思うことも多いとは思いますが、子供経由で保護者にお手伝いさせるようにしたら、盛り上がるのかなと思いました。(40代 男性)
- 子どもの読書活動について調査したいので、読書だけの質問なのかと思うが、子どもの時間の使い方から調査した方がいいと思う。今の子どもは、今の大人が子供だったときより、より多くの選択肢、遊ぶ・学ぶ・読書以外に、ゲーム、インターネット(ブラウジング、チャット等)、TVなどが増えている。読書活動が少なくなるには、その分増えたものがある。子どもの活動の増えた分を減らさないと読書が増えない。全体感を把握して分析も必要だろう。また、読書の利点を子どもに理解してもらうには、例えば、子どもに「調べる」というきっかけを与えたとき、小学低学年なら本で調べる、先生に聞くしかないが、高学年になったときに、ネットで調べることやチャットで聞くも選択肢になり、ネットで調べるが速いためにそれでいいやとなってしまう子もいるかと思う。本なら興味あることにプラスして周辺の情報や体系だって整理して理解できることがあるなどを理解してもらうことも必要なアプローチかもしれない。(50代 男性)
- このコロナ禍での自粛期間に読書を推進するのはいい活動かと思います。ただ、身の回りの人で読書をしている人がいないと、子供にも浸透していかないのではと感じました。実際、時間や曜日のタイミングかとも思いますが、図書館には定期的に足を運んでいますがあまり子供の姿は見かけません。(30代 女性)
- 自宅の周りに8軒新築して子供達が遊ぶ姿を見るようになりました。若いご夫婦が大切に子供を育てる景色を見ているだけで当方も幸せになります。朝霞市が子育てに優れている市であることを目指して欲しいと思います。(70歳以上 男性)
- 私も夫も本好きで、家に本は漫画も含めてたくさんあります。子どもが4人いて同じような環境で育てているのに、本が好きでない子もいます。本が好きになり読書の習慣が身に付くには、子ども自身の好みも大きく影響するのではないかと感じています。図書館をもっと利用したいのですが、本館は家から遠く、分館は開館時間が合わないことと駐車場が満車になりやすく、なかなか利用できません。小学校・中学校の図書室が充実しているので助かっています。学校の図書室を保護者も利用できるようになると、保護者の読書が推進され、子どもも真似して、より読書するようになるのではないのでしょうか。(40代 女性)
- アンケート対象者に、「自分自身の人生経験の中で、読書が有意義だったことは何か」などの設問があったら、それも有効かと思います。また、アンケート対象者の幼少時の読書体験を問うのも意義があるかとも思います。職員のみなさま、ありがとうございました。図書館での読み聞かせ活動の継続をお願いします。(60代 女性)

- 回答欄が自動で改行されないので入力しにくかった。(40代 女性)
- あまりにも意味不明なアンケートだった。(30代 男性)
- 子供がまだ0歳なので図書館は利用していませんが、もう少し大きくなったらたくさん利用する予定です。(20代 女性)
- 子供が複数いる場合、性格や興味の方向が異なり、回答も異なる。読書が好きな子もいれば、嫌いな子もいる。今回のフォームは、その点において回答しにくかった。(50代 女性)
- 質問量は程よいです。質問の意図がわかるけど多すぎないと思いました。(40代 女性)
- 家庭環境はそれぞれの家庭で様々なので、取り組む活動も層別に変化させる必要があると思います。アンケートも層別に取り組むことで、問題点が明らかになるのではないかと思います。(70歳以上 男性)
- 選択した質問によって、画面が遷移しないのは不便なので、Googleフォームなどを使用したアンケートの方が回答しやすいのと、集計も比較的簡単に出来るのではないかと思います。質問の意図と違ったら失礼をお詫び致します。(40代 女性)
- 一時保存が出来ると助かります。(50代 女性)
- 朝霞市の小中学校の図書館はとても利用しやすいと思います。読み聞かせもとても楽しかったようで、子どもたちからいつも話を聞いていました。これからもぜひ続けていただきたいです。(30代 女性)
- 自分の子については何十年も前なのではっきりと覚えていない。孫であればブックスタートでもらった絵本を見ているし、絵本の読み聞かせにも参加している。孫との繋がりがある人が他にもいるのではないのでしょうか。(60代 男性)
- ソフトも大切だがハードも大切。図書館の建て替えを優先事項として検討頂きたい。佐賀の武雄図書館のように、やり方によって市民の税負担を最小限に抑え素晴らしい図書館を作ることも出来るはずです。(50代 女性)
- 非常に分かりやすい質問でした。今回の質問を通して我が家でもより一層本に親しんでいこうと思いました。(40代 女性)
- 昭和育ちの私には、今のスマートフォンやゲームの便利さが、学習面や生活面に対しても、体を使うことを少なくしているように思います。読み書きもなかなかできていないように思います。(60代 女性)
- 本の時代は終わったと思います。インターネットの時代です。(40代 男性)
- 小中学校の時に読んでおくべき良書については、時間をかけて何度もしっかり読んでおく経験を子供が持てるように、学校、図書館、家庭が努力すべきだと思います。親も読み、一人ずつの読書手帳作り、読んだら可愛いシールを貼り、1冊終わったら文具がもらえるなど、達成感を持てるようする。お手軽なものが流行る今、時間をかけて身に着けた教養が、一生の宝になるように、朝霞市が読書をする街になったら誇れます。(60代 女性)
- 子育てはもう何十年も前に済んでしまった事なので忘れています。孫たちも海外なので、あまりこれといったことはありません。(70歳以上 女性)
- 子供2人は成人しています。このアンケートは小さな子供を持つ親達が入力するのが一番だと思います。(70歳以上 男性)
- 初めてアンケートに回答しましたが、字の大きさや質問等の意味が分かりやすく、回答する時間が短くできたのが良かった点だと思います。(50代 男性)
- 性別の回答欄について、LGBTQに配慮しなくてもよいのでしょうか。子供の成長は私達の希望です。今回のアンケートは楽しく答えられました。ありがとうございます。(50代 女性)

- 簡潔で質問内容も的確で回答しやすかったです。(４０代 女性)
- 簡潔で回答が容易であった。(７０歳以上 男性)
- 市の教育行政にアンケートの意見を活かしてもらいたい。(７０歳以上 男性)
- 子供達も成人となり、アンケートに対応することができなかった。アンケートを記入しながら、子供達との思い出で懐かしくなりました。ありがとうございます。(６０代 女性)
- 読書をする習慣をどうすればいいのか私もよくわからない。(５０代 性別未回答)
- 何となく、少し漠然としている。(７０歳以上 男性)
- 作る方々も大変だと思いますが、設問数が少ないと助かります。(６０代 女性)
- 今回のアンケートは、目的があって実施されていましたが、この内容では不十分だと感じました。行政での取組をもっと詳しく説明してほしいかったです。まず、図書館の名称を変えて子供達が楽しく学べる場所にすべきと思います。もっとオープンにして、全員が参加して良かったと言われる催事にすべきと思います。遊び心を加えた楽しい場にしましょう。(７０歳以上 男性)
- 質問個数が適切で対応しやすいです。(７０歳以上 男性)
- 図書館をよく利用しています。利用者の情報を他に漏らさないで下さい。(７０歳以上 男性)
- 良くできていると思います。(４０代 女性)
- 今回のアンケートは、私個人的には無用でした。ですが、孫については本に出会うことは、人生を歩む過程で一番大切な道です。歳を重ねて理解できることは、本を読むか読まないかは、人間形成の一番大切な事であると感じます。子供に読み聞かせる時から本は大切です。孫を見ていると、成長段階で本が好きなことは良かったと思う程、少しの時間でも読んでいます。お子様を育てている方には、読書は大切であると言えます。(７０歳以上 女性)
- 子供達に本の楽しさを知らせる企画の参考にするならば、とても良いアンケートだと思います。大人になって本を読んでいる人は、読解力があります。物事にも公平に対処できるような気がします。質問方法については、本離れを防いでもっと図書館を利用してもらうために、もう少し突っ込んで聞いてみてもよいのではないのでしょうか。(６０代 女性)
- 今子供の読書活動と問われてもピンときません。子育て期間は都内で生活して、小学校の隣が図書館となっており、生活の一部としていました。図書館のイベント参加というより、好きな時に利用していました。本や音楽テープなどをよく借りており、子供は小学生になると一人で出入りしていました。朝霞の図書館は入館したことはあるが、利用したことはありません。建物が古いのか、暗い感じがします。(６０代 女性)
- 今の子供達がスマートフォンを使い続けてから、紙媒体を読む習慣が薄くなり、本からの知識を吸収し、論理的意見が少なくなる事もあり得るので、この読書活動は、お子さんや親御さんのサポートにもなると思います。(２０代 男性)
- 今回は子供を中心としたアンケートであるが、大人対象のアンケートも必要ではないかと考える。(６０代 男性)
- 取り上げるテーマやアンケートの構成などで違いが出るとは思いますが、今回のように１０ページぐらゐに収まる内容だと非常に回答しやすいです(４０代 男性)
- 量がちょうどよく、回答しやすかった。(４０代 女性)
- 子供がいない人はなんか悲しいアンケートでした。(２０代 女性)
- 内容としては分かりやすいアンケートでした。(５０代 女性)
- アンケート用紙に提出期限の記入をお願いします。(４０代 女性)

- 回答に迷う質問が多かった。(40代 女性)
- 昔の事なので、忘れてしまっています。その上、子供の教育は妻まかせであったので、私がアンケートに答えてよいか悩みました。(70歳以上 男性)
- 子供が本を読みたいが何を読んだらいいかわからない場合、親や司書などが発達段階にあった図書を勧める必要があります。また、現代では、紙媒体のみならず、インターネットで検索する方法を指導することも必要です。さらに高校生以上(大人も含む)には英語での検索が指導できると良いと思います。(40代 女性)
- 質問方法は良いと思いますが、子供達が50歳近くなるので、思い出すのが大変でした。(70歳以上 女性)
- インターネット回答で、質問を飛ばす機能が無いのが変です。質問を飛ばす機能をつけないなら、せめて間の質問にどうしたら良いかの説明をするべきです。(50代 女性)
- インターネットで回答した場合には、質問内容に関連する内容のURLを載せる等してアンケートだけで完結させず、その先に繋がるようにするのも良いのではないかと思います。(40代 男性)
- 短時間で、効率良く回答ができること、アンケートを作成されているスタッフの皆様の質問の考案、答えの選択肢など、工夫が素晴らしいです。ありがとうございます。(60代 女性)
- 本を読まない人が中心のアンケートのように感じました。本を読む人へ読む理由を聞くことで、読まない人を読む人に変えられるのではないのでしょうか。また、全員が回答する問には、線を入れるとかともっとすぐに分かりやすくしないと、アンケートが終了のように見えてしまうような気がしました。日々働いている人には文章を読む力もありますが、そのような人ばかりではないので、パッと見て分かりやすくなるような工夫をしてほしいです。税金を使ってアンケートを実施するのですから、きちんと声を集めるアンケートにして下さい。(50代 女性)

子どもの読書活動の推進に関する法律

(平成13年 法律第154号)

(目的)

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第二条 子ども(概ね十八歳以下の者をいう。以下同じ。)の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第三条 国は、前条の基本理念(以下「基本理念」という。)にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第五条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第六条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第七条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第八条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画(以下「子ども読書活動推進基本計画」という。)を策定しなければならない。

- 2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。
- 3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第九条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画(以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。)を策定するよう努めなければならない。

- 2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画(都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画)を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画(以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。)を策定するよう努めなければならない。
- 3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。
- 4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第十条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

- 2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。
- 3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第十一条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するために必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附則

この法律は、公布の日から施行する。